

令和 6 年度

阪南 2 区整備事業に係る環境調査

海域環境調査

月 報（1 月分）



株式会社 KANSO テクノス

目 次

1. 調査目的	1
2. 調査日及び調査内容.....	1
3. 調査場所	1
4. 調査結果	3
4－1 水質調査結果.....	3
4－1－1 定点監視結果および環境基準との比較.....	3
4－1－2 補助監視結果および環境基準、監視基準との比較.....	8
4－2 ダイオキシン類調査結果.....	20
4－2－1 水質調査結果.....	20
4－2－2 底質調査結果.....	33

1. 調査目的

本調査は、阪南２区整備事業において、埋立工事が周辺海域に及ぼす影響を監視することを目的とする。

2. 調査日及び調査内容

調査日及び調査内容を表２に示す。

表２ 調査日及び調査内容

調査日	定点監視	補助監視	調査内容
1月17日		○	現場機器測定
21日		○	現場機器測定
23日	○	○	採水・分析及び現場機器測定 水質・底質（ダイオキシン類）
28日		○	現場機器測定

3. 調査場所

岸和田市岸之浦町地先の阪南２区周辺海域において定点監視は St. 1～St. 4 の４地点、補助監視は護岸開口部の St. S－1～St. S－2 の２地点及びバックグラウンドを把握するため St. B－1～St. B－3 の３地点で行った。

また、ダイオキシン類調査のうち、水質調査は St. 1～St. 4、St. S－1、St. S－2 の６地点、底質調査は St. 1～St. 4 の４地点で行った。

調査地点の緯度、経度を表３に、調査地点を図３に示す。

表３ 調査地点の緯度、経度

調査地点			水質調査		ダイオキシン類調査	
地点名	北緯	東経	定点監視	補助監視	水質	底質
St. 1	34° 28' 57"	135° 20' 57"	○		○	○
St. 2	34° 28' 02"	135° 20' 42"	○		○	○
St. 3	34° 29' 12"	135° 21' 43"	○		○	○
St. 4	34° 28' 02"	135° 21' 22"	○		○	○
St. S-1	34° 29' 15"	135° 21' 21"		○	○	
St. S-2	34° 28' 14"	135° 20' 46"		○	○	
St. B-1	34° 29' 50"	135° 21' 11"		○		
St. B-2	34° 28' 57"	135° 20' 31"		○		
St. B-3	34° 27' 18"	135° 20' 55"		○		

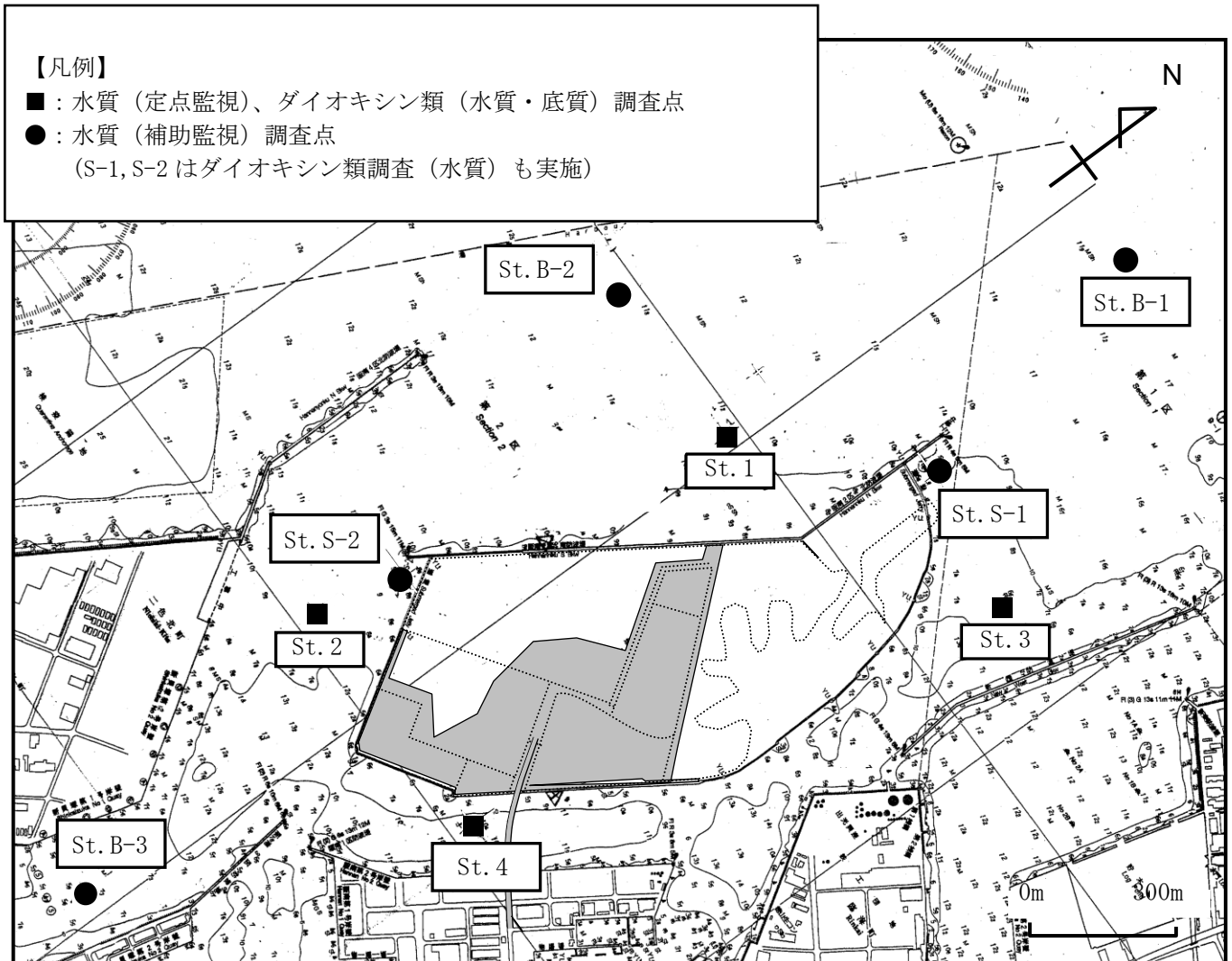


図3 調査地点

4. 調査結果

4-1 水質調査結果

4-1-1 定点監視結果および環境基準との比較

水質調査結果を表4-1-1-1、現場機器測定結果を表4-1-1-2、定点監視野帳を表4-1-1-3に示す。また、環境基準との比較を表4-1-1-4に示す。当調査海域の環境基準は、昭和46年環境庁告示第59号別表2「生活環境の保全に関する環境基準」の「2海域」における表アのC類型、表イのIV類型に該当する。

1) 調査地点の概況

特になし。

2) 現場機器測定

pHは、St. 1の上層において環境基準を満たしていなかった。

DOは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

濁度は、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

3) 採水分析項目

SSは、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

VSSは、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

CODは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

全窒素は、全地点全層において環境基準を満たしていた。

全リンは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

クロロフィルaは、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

表 4－1－1－1 水質調査結果(定点監視)

調査年月日：令和7年1月23日

項目\地点番号		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	最小値	～	最大値	平均値
調査時刻		10:49	11:27	10:09	12:22				
水温 (℃)	上層	10.1	10.5	10.2	10.5	10.1	～	10.5	10.3
	下層	10.5	10.8	10.6	10.8	10.5	～	10.8	10.7
塩分	上層	31.4	31.5	31.5	31.5	31.4	～	31.5	31.5
	下層	31.8	32.1	31.7	32.0	31.7	～	32.1	31.9
濁度 度(カリン)	上層	1	1	1	1	1	～	1	1
	下層	1	2	1	1	1	～	2	1
p H	上層	8.4	8.3	8.3	8.3	8.3	～	8.4	－
	下層	8.2	8.1	8.2	8.2	8.1	～	8.2	－
S S (mg/L)	上層	1	1	1	1	1	～	1	1
	下層	1	1	1	2	1	～	2	1
V S S (mg/L)	上層	<1	<1	1	<1	<1	～	1	1
	下層	<1	<1	<1	<1	<1	～	<1	<1
C O D (mg/L)	上層	2.4	2.3	2.1	2.0	2.0	～	2.4	2.2
	下層	1.8	1.5	1.7	1.6	1.5	～	1.8	1.7
D O (mg/L)	上層	11	11	11	11	11	～	11	11
	下層	9.3	8.3	9.9	8.8	8.3	～	9.9	9.1
全窒素 (mg/L)	上層	0.31	0.31	0.34	0.26	0.26	～	0.34	0.31
	下層	0.27	0.26	0.28	0.26	0.26	～	0.28	0.27
全リン (mg/L)	上層	0.027	0.028	0.031	0.022	0.022	～	0.031	0.027
	下層	0.023	0.027	0.024	0.025	0.023	～	0.027	0.025
クロロフィルa (μg/L)	上層	8.0	8.1	8.0	7.8	7.8	～	8.1	8.0
	下層	8.2	5.2	8.2	8.9	5.2	～	8.9	7.6

測定層は上層：海面下1m、下層：海底面上2m

平均値は、下限値未満の場合は下限値を用いて計算した。（全地点が下限値未満の場合を除く。）

表 4－1－1－2

現場機器測定結果

調査地点	St.1					
時刻	10:49					
水深(m)	12.2					
項目 層(m)	水温 (℃)	塩分 (－)	pH (－)	DO (mg/L)	DO (%)	濁度 (度(耐光))
0.5	10.2	31.4	8.4	11	128	1
1.0	10.1	31.4	8.4	11	128	1
2.0	10.2	31.4	8.4	11	128	1
3.0	10.1	31.4	8.4	11	128	1
4.0	10.1	31.5	8.3	11	128	1
5.0	10.1	31.5	8.3	11	126	2
6.0	10.1	31.5	8.3	11	125	1
7.0	10.2	31.5	8.3	11	122	1
8.0	10.4	31.6	8.3	10	116	1
9.0	10.4	31.7	8.2	9.9	109	1
10.0	10.5	31.8	8.2	9.4	104	1
11.0	－	－	－	－	－	－
12.0	－	－	－	－	－	－
13.0	－	－	－	－	－	－
14.0	－	－	－	－	－	－
15.0	－	－	－	－	－	－
B-2.0	10.5	31.8	8.2	9.3	103	1
B-1.0	10.6	31.9	8.2	8.9	98	1
B-0.5	10.8	32.1	8.1	8.2	91	2

調査年月日：令和7年1月23日						
調査地点	St.2					
時刻	11:27					
水深(m)	13.7					
項目 層(m)	水温 (℃)	塩分 (－)	pH (－)	DO (mg/L)	DO (%)	濁度 (度(耐光))
0.5	10.5	31.4	8.3	11	129	1
1.0	10.5	31.5	8.3	11	131	1
2.0	10.6	31.5	8.3	12	132	1
3.0	10.6	31.5	8.3	11	125	1
4.0	10.6	31.6	8.3	10	118	1
5.0	10.6	31.6	8.3	10	115	1
6.0	10.7	31.8	8.2	10	112	1
7.0	10.6	31.8	8.2	10	110	1
8.0	10.6	31.9	8.2	9.0	100	1
9.0	10.7	32.0	8.2	8.6	96	1
10.0	10.7	32.0	8.1	8.4	93	1
11.0	10.8	32.1	8.1	8.3	92	2
12.0	－	－	－	－	－	－
13.0	－	－	－	－	－	－
14.0	－	－	－	－	－	－
15.0	－	－	－	－	－	－
B-2.0	10.8	32.1	8.1	8.3	92	2
B-1.0	10.8	32.1	8.1	8.2	91	2
B-0.5	10.8	32.1	8.1	8.2	91	2

調査地点	St.3					
時刻	10:09					
水深(m)	9.2					
項目 層(m)	水温 (℃)	塩分 (－)	pH (－)	DO (mg/L)	DO (%)	濁度 (度(耐光))
0.5	10.2	31.4	8.3	11	123	1
1.0	10.2	31.5	8.3	11	123	1
2.0	10.3	31.5	8.3	11	123	1
3.0	10.4	31.5	8.3	11	121	1
4.0	10.4	31.6	8.3	10	118	1
5.0	10.2	31.6	8.3	10	116	1
6.0	10.3	31.6	8.3	10	113	1
7.0	10.4	31.7	8.2	10	111	1
8.0	－	－	－	－	－	－
9.0	－	－	－	－	－	－
10.0	－	－	－	－	－	－
11.0	－	－	－	－	－	－
12.0	－	－	－	－	－	－
13.0	－	－	－	－	－	－
14.0	－	－	－	－	－	－
15.0	－	－	－	－	－	－
B-2.0	10.6	31.7	8.2	9.9	109	1
B-1.0	10.7	32.0	8.2	8.7	97	2
B-0.5	10.7	32.0	8.2	8.6	96	2

調査地点	St.4					
時刻	12:22					
水深(m)	11.3					
項目 層(m)	水温 (℃)	塩分 (－)	pH (－)	DO (mg/L)	DO (%)	濁度 (度(耐光))
0.5	10.5	31.4	8.3	11	124	1
1.0	10.5	31.5	8.3	11	124	1
2.0	10.5	31.5	8.3	11	123	1
3.0	10.5	31.5	8.3	10	120	1
4.0	10.6	31.6	8.3	10	116	1
5.0	10.6	31.7	8.2	10	110	1
6.0	10.7	31.8	8.2	9.6	106	1
7.0	10.7	31.9	8.2	9.4	104	1
8.0	10.8	31.9	8.2	8.9	99	1
9.0	10.8	32.0	8.2	8.8	98	1
10.0	－	－	－	－	－	－
11.0	－	－	－	－	－	－
12.0	－	－	－	－	－	－
13.0	－	－	－	－	－	－
14.0	－	－	－	－	－	－
15.0	－	－	－	－	－	－
B-2.0	10.8	32.0	8.2	8.8	98	1
B-1.0	10.8	32.0	8.2	8.8	98	1
B-0.5	10.8	32.0	8.2	8.4	94	2

表 4 - 1 - 1 - 3 定点監視野帳

項目	単位	層	調査地点			
			St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
調査日			1月23日	1月23日	1月23日	1月23日
調査開始時刻			10:49	11:27	10:09	12:22
天気・雲量			晴・6	晴・6	晴・6	晴・6
風向・風力			ENE・1	NE・1	ENE・1	NE・1
風浪階級			1	1	1	1
気温	℃		10.6	10.7	10.9	11.0
水深	m		12.2	13.7	9.2	11.3
透明度	m		4.9	4.0	4.3	3.5
水色 (マンセル値)			dark yellowish green (10GY 3/4)	dark yellowish green (10GY 3/4)	dark yellowish green (10GY 3/4)	dark yellowish green (10GY 3/4)
赤潮の有無			無	無	無	無
油膜の有無			無	無	無	無
水温	℃	上	10.1	10.5	10.2	10.5
		下	10.5	10.8	10.6	10.8
透視度	cm	上	50<	50<	50<	50<
		下	50<	50<	50<	50<
流速	cm/sec	上	4.8	2.5	1.3	2.6
		下	3.2	5.3	4.1	4.5
流向	(°)	上	186	339	70	226
		下	219	116	310	77

注：測定層は、上層：海面下1m、下層：海底面上2m

表 4－1－1－4 定点監視調査結果と環境基準との比較

調査年月日：令和7年1月23日

項目\地点番号		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	環境基準値 ^{注)}
pH	上層	×	○	○	○	7.0以上8.3以下
	下層	○	○	○	○	
COD	上層	○	○	○	○	8mg/L 以下
	下層	○	○	○	○	
DO	上層	○	○	○	○	2mg/L 以上
	下層	○	○	○	○	
全窒素	上層	○	○	○	○	1mg/L 以下
	下層	○	○	○	○	
全リン	上層	○	○	○	○	0.09mg/L 以下
	下層	○	○	○	○	

備考) ○：基準内 ×：基準外

注) 環境基準値は「生活環境の保全に関する環境基準」による。当調査海域はC類型、IV類型に該当。

4-1-2 補助監視結果および環境基準、監視基準との比較

水質調査結果を表4-1-2-1～表4-1-2-4、補助監視野帳を表4-1-2-5～表4-1-2-8に示す。また、環境基準との比較を表4-1-2-9、監視基準との比較を表4-1-2-10に示す。

なお、護岸開口部の St. S-1 と St. S-2 における濁度の監視基準は、バックグラウンドの最低値との差が上層は+3度（カオリン）未満、下層は+11度（カオリン）未満としている。

・ 1月17日

1) 調査地点の概況

特になし。

2) 現場機器測定

pH は、全地点全層において環境基準を満たしていた。

DO は、全地点全層において環境基準を満たしていた。

濁度は、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

・ 1月21日

1) 調査地点の概況

特になし。

2) 現場機器測定

pH は、全地点全層において環境基準を満たしていた。

DO は、全地点全層において環境基準を満たしていた。

濁度は、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

・ 1月23日

1) 調査地点の概況

特になし。

2) 現場機器測定

pH は、全地点全層において環境基準を満たしていた。

DO は、全地点全層において環境基準を満たしていた。

濁度は、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

3) 採水分析項目

SS は、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

VSS は、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

- ・ 1月28日

- 1) 調査地点の概況

特になし。

- 2) 現場機器測定

pH は、全地点全層において環境基準を満たしていた。

DO は、全地点全層において環境基準を満たしていた。

濁度は、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

表 4-1-2-1 水質調査結果(補助監視地点)

調査年月日 : 令和7年1月17日

項目\地点番号		St. S-1	St. S-2	最小値	～	最大値	St. B-1	St. B-2	St. B-3	平均値
調査時刻		09 : 41	09 : 32	—			09 : 00	09 : 10	09 : 22	—
水温 (℃)	上層	8.6	8.5	8.5	～	8.6	8.8	8.7	8.3	8.6
	下層	8.4	8.6	8.4	～	8.6	9.2	10.1	8.4	9.2
塩分	上層	30.4	30.6	30.4	～	30.6	30.5	30.5	30.4	30.5
	下層	30.6	30.7	30.6	～	30.7	31.0	31.6	30.4	31.0
濁度 (カリン)	上層	<1	<1	<1	～	<1	<1	<1	<1	<1
	下層	1	<1	<1	～	1	1	1	<1	1
pH	上層	8.2	8.2	8.2	～	8.2	8.2	8.2	8.2	—
	下層	8.2	8.2	8.2	～	8.2	8.2	8.2	8.2	—
備 考										

測定層は上層：海面下1m、下層：海底面上2m

平均値は、下限値未満の場合は下限値を用いて計算した。（全地点が下限値未満の場合を除く。）

表 4-1-2-2 水質調査結果(補助監視地点)

調査年月日 : 令和7年1月21日

項目\地点番号		St. S-1	St. S-2	最小値	～	最大値	St. B-1	St. B-2	St. B-3	平均値
調査時刻		09 : 33	09 : 25	—			09 : 00	09 : 09	09 : 18	—
水温 (℃)	上層	10.2	10.1	10.1	～	10.2	10.0	9.9	10.0	10.0
	下層	10.7	10.7	10.7	～	10.7	10.8	10.8	10.6	10.7
塩分	上層	31.5	31.2	31.2	～	31.5	31.3	31.3	31.3	31.3
	下層	32.0	32.0	32.0	～	32.0	32.1	32.1	31.8	32.0
濁度 (カリン)	上層	1	1	1	～	1	1	<1	<1	1
	下層	1	1	1	～	1	1	1	1	1
pH	上層	8.2	8.2	8.2	～	8.2	8.3	8.3	8.2	—
	下層	8.2	8.2	8.2	～	8.2	8.2	8.2	8.2	—
備 考										

測定層は上層：海面下1m、下層：海底面上2m

平均値は、下限値未満の場合は下限値を用いて計算した。（全地点が下限値未満の場合を除く。）

表 4-1-2-3 水質調査結果(補助監視地点)

調査年月日 : 令和7年1月23日

項目\地点番号		St. S-1	St. S-2	最小値	～	最大値	St. B-1	St. B-2	St. B-3	平均値
調査時刻		09 : 51	09 : 37	—			09 : 03	09 : 15	09 : 27	—
水温 (℃)	上層	9.9	10.3	9.9	～	10.3	10.0	10.2	10.2	10.1
	下層	10.6	10.8	10.6	～	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8
塩分	上層	31.4	31.3	31.3	～	31.4	31.4	31.4	31.4	31.4
	下層	31.8	32.0	31.8	～	32.0	32.1	32.1	32.0	32.1
濁度 (カリン)	上層	1	1	1	～	1	1	1	1	1
	下層	1	1	1	～	1	1	1	1	1
pH	上層	8.3	8.3	8.3	～	8.3	8.3	8.3	8.3	—
	下層	8.2	8.2	8.2	～	8.2	8.2	8.2	8.2	—
SS(mg/L)	上層	2	1	1	～	2	1	1	2	1
	下層	1	1	1	～	1	1	2	1	1
VSS(mg/L)	上層	1	<1	<1	～	1	<1	<1	1	1
	下層	<1	<1	<1	～	<1	<1	<1	<1	<1
備 考										

測定層は上層：海面下1m、下層：海底面上2m

平均値は、下限値未満の場合は下限値を用いて計算した。（全地点が下限値未満の場合を除く。）

表 4－1－2－4 水質調査結果(補助監視地点)

調査年月日 : 令和7年1月28日

項目\地点番号		St. S－1	St. S－2	最小値	～	最大値	St. B－1	St. B－2	St. B－3	平均値
調査時刻		09 : 49	09 : 35	—			09 : 00	09 : 10	09 : 24	—
水温 (℃)	上層	10.4	10.3	10.3	～	10.4	10.4	10.4	10.3	10.4
	下層	10.5	10.5	10.5	～	10.5	10.5	10.5	10.4	10.5
塩分	上層	31.6	31.6	31.6	～	31.6	31.5	31.5	31.8	31.6
	下層	31.7	31.9	31.7	～	31.9	31.5	31.6	32.0	31.7
濁度 (カリン)	上層	2	1	1	～	2	1	1	1	1
	下層	2	1	1	～	2	1	1	2	1
p H	上層	8.3	8.3	8.3	～	8.3	8.3	8.3	8.3	—
	下層	8.3	8.2	8.2	～	8.3	8.3	8.3	8.3	—
備 考										

測定層は上層：海面下1m、下層：海底面上2m

表 4 - 1 - 2 - 5 補助監視野帳

令和7年1月17日

調査地点		St. S - 1	St. S - 2	St. B - 1	St. B - 2	St. B - 3
調査開始時刻		09 : 41	09 : 32	09 : 00	09 : 10	09 : 22
天気・雲量		晴 ・ 5	晴 ・ 5	晴 ・ 7	晴 ・ 7	晴 ・ 5
風向・風力		N ・ 3	N ・ 3	N ・ 3	N ・ 3	N ・ 3
風浪階級		2	2	3	3	2
気温 (℃)		7.1	7.2	6.8	6.8	7.3
水深 (m)		11.2	10.7	13.5	13.6	8.8
透明度 (m)		8.8	9.0	8.0	8.3	7.9
水色		deep green	deep green	deep green	deep green	deep green
(マンセル値)		5G3.5/7	5G3.5/7	5G3.5/7	5G3.5/7	5G3.5/7
赤潮の状態		無	無	無	無	無
油膜の有無		無	無	無	無	無
水温 (℃)	上層	8.6	8.5	8.8	8.7	8.3
	下層	8.4	8.6	9.2	10.1	8.4
pH (－)	上層	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
	下層	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
塩分 (－)	上層	30.4	30.6	30.5	30.5	30.4
	下層	30.6	30.7	31.0	31.6	30.4
DO (mg/L)	上層	9.1	9.1	9.0	9.1	9.0
	下層	9.1	9.0	8.9	8.7	9.1
DO飽和度 (%)	上層	95	95	95	96	94
	下層	95	95	95	95	95
濁度 (度(カリン))	上層	<1	<1	<1	<1	<1
	下層	1	<1	1	1	<1
濁度 (BGとの差)	上層	0	0	バックグラウンド (BG) 値=		<1
	下層	0	0	バックグラウンド (BG) 値=		<1

測定層は、上層：海面下1m、下層：海底面上2m

濁度 (バックグラウンド値との差) は、「各点各層濁度」 - 「バックグラウンドの濁度最小値」とし、下限値未満 (<1) は「1」として計算した。

濁度の監視基準 (バックグラウンド値との差) は、上層が3度・カリン未満、下層が11度・カリン未満

表 4-1-2-6 補助監視野帳

令和7年1月21日

調査地点		St. S-1	St. S-2	St. B-1	St. B-2	St. B-3
調査開始時刻		09 : 33	09 : 25	09 : 00	09 : 09	09 : 18
天気・雲量		晴 ・ 5	晴 ・ 5	晴 ・ 7	晴 ・ 6	晴 ・ 6
風向・風力		W ・ 1	W ・ 1	W ・ 1	W ・ 1	W ・ 1
風浪階級		1	1	1	1	1
気温 (℃)		11.5	11.2	9.0	10.1	10.6
水深 (m)		11.1	10.7	13.3	13.6	8.6
透明度 (m)		6.0	7.0	6.3	6.2	6.2
水色		deep green	deep green	deep green	deep green	deep green
(マンセル値)		5G3.5/7	5G3.5/7	5G3.5/7	5G3.5/7	5G3.5/7
赤潮の状態		無	無	無	無	無
油膜の有無		無	無	無	無	無
水温 (℃)	上層	10.2	10.1	10.0	9.9	10.0
	下層	10.7	10.7	10.8	10.8	10.6
pH (－)	上層	8.2	8.2	8.3	8.3	8.2
	下層	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
塩分 (－)	上層	31.5	31.2	31.3	31.3	31.3
	下層	32.0	32.0	32.1	32.1	31.8
DO (mg/L)	上層	10	9.9	10	10	9.9
	下層	8.8	8.7	8.5	8.4	9.3
DO飽和度 (%)	上層	109	108	111	112	108
	下層	98	97	95	94	103
濁度 (度(カリン))	上層	1	1	1	<1	<1
	下層	1	1	1	1	1
濁度 (BGとの差)	上層	0	0	バックグラウンド (BG) 値= <1		
	下層	0	0	バックグラウンド (BG) 値= 1		

測定層は、上層：海面下1m、下層：海底面上2m

濁度 (バックグラウンド値との差) は、「各点各層濁度」-「バックグラウンドの濁度最小値」とし、下限値未満 (<1) は「1」として計算した。

濁度の監視基準 (バックグラウンド値との差) は、上層が3度・カリン未満、下層が11度・カリン未満

表 4-1-2-7 補助監視野帳

令和7年1月23日

調査地点		St. S-1	St. S-2	St. B-1	St. B-2	St. B-3
調査開始時刻		09 : 51	09 : 37	09 : 03	09 : 15	09 : 27
天気・雲量		晴 ・ 7	晴 ・ 7	晴 ・ 7	晴 ・ 7	晴 ・ 7
風向・風力		E ・ 1	E ・ 1	E ・ 1	E ・ 1	E ・ 1
風浪階級		1	1	1	1	1
気温 (℃)		10.0	8.8	8.3	8.9	9.0
水深 (m)		11.3	10.8	13.5	13.6	8.8
透明度 (m)		4.1	4.0	3.9	4.1	4.3
水色		dark yellowish green	dark yellowish green	dark yellowish green	dark yellowish green	dark yellowish green
(マンセル値)		10GY3/4	10GY3/4	10GY3/4	10GY3/4	10GY3/4
赤潮の状態		無	無	無	無	無
油膜の有無		無	無	無	無	無
水温 (℃)	上層	9.9	10.3	10.0	10.2	10.2
	下層	10.6	10.8	10.8	10.8	10.8
pH (－)	上層	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3
	下層	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
塩分 (－)	上層	31.4	31.3	31.4	31.4	31.4
	下層	31.8	32.0	32.1	32.1	32.0
DO (mg/L)	上層	11	11	11	11	11
	下層	9.3	8.4	8.4	8.3	8.6
DO飽和度 (%)	上層	119	120	125	122	122
	下層	103	94	93	92	96
濁度 (度(カリン))	上層	1	1	1	1	1
	下層	1	1	1	1	1
濁度 (BGとの差)	上層	0	0	バックグラウンド (BG) 値= 1		
	下層	0	0	バックグラウンド (BG) 値= 1		

測定層は、上層：海面下1m、下層：海底面上2m

濁度 (バックグラウンド値との差) は、「各点各層濁度」-「バックグラウンドの濁度最小値」とし、下限値未満 (<1) は「1」として計算した。

濁度の監視基準 (バックグラウンド値との差) は、上層が3度・カリン未満、下層が11度・カリン未満

表 4 - 1 - 2 - 8 補助監視野帳

令和7年1月28日

調査地点		St. S - 1	St. S - 2	St. B - 1	St. B - 2	St. B - 3
調査開始時刻		09 : 49	09 : 35	09 : 00	09 : 10	09 : 24
天気・雲量		晴 ・ 3	晴 ・ 3	晴 ・ 3	晴 ・ 3	晴 ・ 3
風向・風力		W ・ 4	W ・ 4	W ・ 4	W ・ 4	W ・ 3
風浪階級		2	2	3	3	2
気温 (℃)		10.6	10.0	9.2	9.7	9.4
水深 (m)		11.3	11.1	13.6	13.7	8.8
透明度 (m)		3.7	3.4	3.5	3.3	3.8
水色		dark yellowish green	dark yellowish green	dark yellowish green	dark yellowish green	dark yellowish green
(マンセル値)		10GY3/4	10GY3/4	10GY3/4	10GY3/4	10GY3/4
赤潮の状態		無	無	無	無	無
油膜の有無		無	無	無	無	無
水温 (℃)	上層	10.4	10.3	10.4	10.4	10.3
	下層	10.5	10.5	10.5	10.5	10.4
pH (－)	上層	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3
	下層	8.3	8.2	8.3	8.3	8.3
塩分 (－)	上層	31.6	31.6	31.5	31.5	31.8
	下層	31.7	31.9	31.5	31.6	32.0
DO (mg/L)	上層	10	10	10	10	10
	下層	10	9.4	9.9	9.9	9.9
DO飽和度 (%)	上層	116	113	110	111	112
	下層	110	104	109	109	109
濁度 (度(カリン))	上層	2	1	1	1	1
	下層	2	1	1	1	2
濁度 (BGとの差)	上層	+1	0	バックグラウンド (BG) 値= 1		
	下層	+1	0	バックグラウンド (BG) 値= 1		

測定層は、上層：海面下1m、下層：海底面上2m

濁度 (バックグラウンド値との差) は、「各点各層濁度」 - 「バックグラウンドの濁度最小値」とし、下限値未満 (<1) は「1」として計算した。

濁度の監視基準 (バックグラウンド値との差) は、上層が3度・カリン未満、下層が11度・カリン未満

表 4-1-2-9 補助監視調査結果の環境基準との比較

調査日	項目\地点番号		St. S-1	St. S-2	St. B-1	St. B-2	St. B-3
1月17日	pH	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
	DO	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
1月21日	pH	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
	DO	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
1月23日	pH	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
	DO	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
1月28日	pH	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
	DO	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○

備考) ○ : 基準内 × 基準外

注) 環境基準値は「生活環境の保全に関する環境基準」による。当調査海域はC類型に該当。

pH : 7.0 以上 8.3 以下 DO : 2 mg/L 以上

表 4-1-2-10 補助監視点の濁度(バックグラウンド値との差)

調査日	項目\地点番号	St. S- 1	評価	St. S- 2	評価	バックグラウンド(BG) 値
1月17日	上層	0	○	0	○	<1
	下層	0	○	0	○	<1
1月21日	上層	0	○	0	○	<1
	下層	0	○	0	○	1
1月23日	上層	0	○	0	○	1
	下層	0	○	0	○	1
1月28日	上層	+1	○	0	○	1
	下層	+1	○	0	○	1

備考) ○ : 基準内 × 基準外

注) 濁度の監視基準 (バックグラウンド値との差) は、上層が3度・カオリン未満、下層が11度・カオリン未満

注) 濁度 (BG との差) の計算は、「各点各層濁度」－「バックグラウンドの濁度最小値」とした。

4-2 ダイオキシン類調査結果

4-2-1 水質調査結果

分析結果概要を表4-2-1-1、異性体および同族体別調査結果を表4-2-1-2～表4-2-1-7に示す。また、同族体および異性体のパターンを図4-2-1-1～図4-2-1-6に示す。

本調査の結果は、0.049～0.054pg-TEQ/Lであり、各地点とも環境基準を下回っていた。

令和5年度「大阪府ダイオキシン類常時監視結果」（巻末参考資料参照）によると、大阪湾における水質の濃度は0.031～0.041pg-TEQ/Lであり、今回の結果はそれらの結果と比較するとほぼ同じ値であった。

表4-2-1-1 分析結果概要（水質）

試料名	試験項目	実測濃度 (pg/L)	毒性当量
			(pg-TEQ/L)
St.1	PCDDs+PCDFs	1.4	0.046
	Co-PCBs	8.8	0.0049
	ダイオキシン類	—	0.051
St.2	PCDDs+PCDFs	2.8	0.048
	Co-PCBs	11	0.0030
	ダイオキシン類	—	0.051
St.3	PCDDs+PCDFs	1.9	0.047
	Co-PCBs	11	0.0070
	ダイオキシン類	—	0.054
St.4	PCDDs+PCDFs	1.8	0.046
	Co-PCBs	9.2	0.0029
	ダイオキシン類	—	0.049
St.S-1	PCDDs+PCDFs	3.8	0.049
	Co-PCBs	12	0.0030
	ダイオキシン類	—	0.052
St.S-2	PCDDs+PCDFs	2.0	0.047
	Co-PCBs	17	0.0032
	ダイオキシン類	—	0.051

この表は、ダイオキシン類測定結果から一部のデータを抜粋した参考資料である。

毒性当量：2,3,7,8-T₄CDD 毒性当量を示す。

毒性等価係数は以下の係数を適用した。

PCDDs, PCDFs：WHO/IPCS（2006）

Co-PCBs：WHO/IPCS（2006）

毒性当量は検出下限未満のものは、試料における検出下限の1/2の値を用いて算出したものである。

表4-2-1-2 ダイオキシン類調査結果（水質：St.1）

試料名		St.1		試料媒体	水質	
採取日		2025年1月23日		試料量 (L)	20.5	
		検出下限値	定量下限値	実測濃度	毒性当量	
					WHO-TEF,2006 *1	WHO-TEF,2006 *2
		pg/L	pg/L	pg/L	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.03	0.08	(0.07)	—	—
	1,3,7,9-TeCDD	0.03	0.08	N.D.	—	—
	2,3,7,8-TeCDD	0.03	0.08	N.D.	×1 0	×1 0.015
	TeCDDs	0.03	0.08	0.11	—	—
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.02	0.07	N.D.	×1 0	×1 0.01
	PeCDDs	0.02	0.07	N.D.	—	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.04	0.14	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.002
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.05	0.15	N.D.	0	0.0025
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.04	0.15	N.D.	0	0.002
	HxCDDs	0.04	0.14	0.20	—	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.05	0.18	(0.08)	×0.01 0	×0.01 0.0008
	HpCDDs	0.05	0.18	0.27	—	—
ジベンゾフラン	OCDD	0.05	0.16	0.76	×0.0003 0.000228	×0.0003 0.000228
	Total PCDDs	—	—	1.3	0.00023	0.033
	1,2,7,8-TeCDF	0.03	0.09	N.D.	—	—
	2,3,7,8-TeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0015
	TeCDFs	0.03	0.09	N.D.	—	—
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.00045
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.3 0	×0.3 0.0045
	PeCDFs	0.03	0.09	N.D.	—	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.03	0.10	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0015
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.03	0.11	N.D.	0	0.0015
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.05	0.18	N.D.	0	0.0025
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.03	0.11	N.D.	0	0.0015
COPs	HxCDFs	0.03	0.10	N.D.	—	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.03	0.11	N.D.	×0.01 0	×0.01 0.00015
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.05	0.15	N.D.	0	0.00025
	HpCDFs	0.03	0.11	N.D.	—	—
	OCDF	0.05	0.17	(0.06)	×0.0003 0	×0.0003 0.000018
	Total PCDFs	—	—	(0.06)	0	0.014
	Total PCDDs+PCDFs	—	—	1.4	0.00023	0.046
	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.03	0.10	1.9	×0.0001 0.00019	×0.0001 0.00019
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.03	0.11	(0.09)	×0.0003 0	×0.0003 0.000027
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.04	0.14	(0.04)	×0.1 0	×0.1 0.004
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.03	0.09	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.00045
	Non-ortho PCBs	—	—	2.0	0.00019	0.0047
COPs	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.04	0.12	(0.10)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000030
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.05	0.18	4.2	×0.00003 0.000126	×0.00003 0.000126
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.04	0.14	2.0	×0.00003 0.000060	×0.00003 0.000060
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	0.03	0.12	0.14	×0.00003 0.0000042	×0.00003 0.0000042
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.05	0.17	(0.09)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000027
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.05	0.16	0.22	×0.00003 0.0000066	×0.00003 0.0000066
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.04	0.14	N.D.	×0.00003 0	×0.00003 0.0000006
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.05	0.15	N.D.	×0.00003 0	×0.00003 0.00000075
	Mono-ortho PCBs	—	—	6.7	0.00020	0.00020
	Total Co-PCBs	—	—	8.8	0.00039	0.0049
	Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	—	—	10	0.00061	0.051

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。

2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。

3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。

4. 毒性当量 * 1: 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。

* 2: 検出下限未満の数値は検出下限値の1/2の値を用いて算出する。

5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-2-1-3 ダイオキシン類調査結果（水質：St. 2）

試料名		St2		試料媒体	水質	
採取日		2025年1月23日		試料量 (L)	20.2	
		検出下限値	定量下限値	実測濃度	毒性当量	
					WHO-TEF,2006 *1	WHO-TEF,2006 *2
		pg/L	pg/L	pg/L	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.03	0.09	0.16	—	—
	1,3,7,9-TeCDD	0.03	0.09	0.10	—	—
	2,3,7,8-TeCDD	0.03	0.09	N.D.	×1 0	×1 0.015
	TeCDDs	0.03	0.09	0.27	—	—
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.02	0.07	N.D.	×1 0	×1 0.01
	PeCDDs	0.02	0.07	0.08	—	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.04	0.14	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.002
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.05	0.15	N.D.	0	0.0025
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.05	0.15	N.D.	0	0.0025
	HxCDDs	0.04	0.14	0.21	—	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.05	0.18	(0.13)	×0.01 0	×0.01 0.0013
	HpCDDs	0.05	0.18	0.41	—	—
	OCDD	0.05	0.17	1.8	×0.0003 0.00054	×0.0003 0.00054
Total PCDDs		—	—	2.8	0.00054	0.034
ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	0.03	0.09	N.D.	—	—
	2,3,7,8-TeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0015
	TeCDFs	0.03	0.09	N.D.	—	—
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.00045
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.3 0	×0.3 0.0045
	PeCDFs	0.03	0.09	N.D.	—	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.03	0.10	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0015
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.03	0.11	N.D.	0	0.0015
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.05	0.18	N.D.	0	0.0025
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.03	0.12	N.D.	0	0.0015
	HxCDFs	0.03	0.10	N.D.	—	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.03	0.11	(0.05)	×0.01 0	×0.01 0.0005
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.05	0.15	N.D.	0	0.00025
	HpCDFs	0.03	0.11	(0.05)	—	—
	OCDF	0.05	0.18	N.D.	×0.0003 0	×0.0003 0.0000075
Total PCDFs		—	—	(0.05)	0	0.014
Total PCDDs+PCDFs		—	—	2.8	0.00054	0.048
COPCBs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.03	0.10	2.0	×0.0001 0.0002	×0.0001 0.0002
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.03	0.11	(0.10)	×0.0003 0	×0.0003 0.000030
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.04	0.14	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.002
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.03	0.09	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.00045
	Non-ortho PCBs	—	—	2.1	0.00020	0.0027
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.04	0.12	(0.09)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000027
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.06	0.18	5.7	×0.00003 0.000171	×0.00003 0.000171
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.04	0.14	2.5	×0.00003 0.000075	×0.00003 0.000075
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	0.04	0.12	0.18	×0.00003 0.0000054	×0.00003 0.0000054
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.05	0.18	(0.15)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000045
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.05	0.16	0.34	×0.00003 0.0000102	×0.00003 0.0000102
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.04	0.15	(0.07)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000021
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.05	0.16	N.D.	×0.00003 0	×0.00003 0.00000075
	Mono-ortho PCBs	—	—	9.1	0.00026	0.0027
Total Co-PCBs		—	—	11	0.00046	0.0030
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	14	0.0010	0.051

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。

2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。

3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。

4. 毒性当量 * 1 : 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。

* 2 : 検出下限未満の数値は検出下限値の1/2の値を用いて算出する。

5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-2-1-4 ダイオキシン類調査結果（水質：St. 3）

試料名		St.3		試料媒体		水質	
採取日		2025年1月23日		試料量 (L)		20.3	
		検出下限値 pg/L	定量下限値 pg/L	実測濃度 pg/L	毒性当量		
					WHO-TEF,2006 *1	WHO-TEF,2006 *2	
					pg-TEQ/L	pg-TEQ/L	
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.03	0.09	(0.08)	—	—	
	1,3,7,9-TeCDD	0.03	0.09	(0.06)	—	—	
	2,3,7,8-TeCDD	0.03	0.09	N.D.	×1 0	×1 0.015	
	TeCDDs	0.03	0.09	0.16	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.02	0.07	N.D.	×1 0	×1 0.01	
	PeCDDs	0.02	0.07	N.D.	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.04	0.14	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.002	
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.05	0.15	N.D.	0	0.0025	
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.04	0.15	N.D.	0	0.002	
	HxCDDs	0.04	0.14	0.16	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.05	0.18	(0.12)	×0.01 0	×0.01 0.0012	
	HpCDDs	0.05	0.18	0.29	—	—	
OCDD	0.05	0.16	1.2	×0.0003 0.00036	×0.0003 0.00036		
Total PCDDs		—	—	1.8	0.00036	0.033	
ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	0.03	0.09	N.D.	—	—	
	2,3,7,8-TeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0015	
	TeCDFs	0.03	0.09	N.D.	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.00045	
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.3 0	×0.3 0.0045	
	PeCDFs	0.03	0.09	N.D.	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.03	0.10	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0015	
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.03	0.11	N.D.	0	0.0015	
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.05	0.18	N.D.	0	0.0025	
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.03	0.12	N.D.	0	0.0015	
	HxCDFs	0.03	0.10	N.D.	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.03	0.11	N.D.	×0.01 0	×0.01 0.00015	
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.05	0.15	N.D.	0	0.00025	
	HpCDFs	0.03	0.11	(0.05)	—	—	
	OCDF	0.05	0.18	N.D.	×0.0003 0	×0.0003 0.0000075	
Total PCDFs		—	—	(0.05)	0	0.014	
Total PCDDs+PCDFs		—	—	1.9	0.00036	0.047	
COPCBs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.03	0.10	2.3	×0.0001 0.00023	×0.0001 0.00023	
	3,4,4',5-TeCB(#81)	0.03	0.11	(0.09)	×0.0003 0	×0.0003 0.000027	
	3,3',4,4',5-PeCB(#126)	0.04	0.14	(0.06)	×0.1 0	×0.1 0.006	
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.03	0.09	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.00045	
	Non-ortho PCBs	—	—	2.5	0.00023	0.0067	
	2',3,4,4',5-PeCB(#123)	0.04	0.12	(0.11)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000033	
	2,3',4,4',5-PeCB(#118)	0.06	0.18	5.4	×0.00003 0.000162	×0.00003 0.000162	
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.04	0.14	2.5	×0.00003 0.000075	×0.00003 0.000075	
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	0.04	0.12	0.16	×0.00003 0.0000048	×0.00003 0.0000048	
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.05	0.18	(0.15)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000045	
	2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)	0.05	0.16	0.27	×0.00003 0.0000081	×0.00003 0.0000081	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.04	0.15	(0.09)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000027	
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.05	0.16	N.D.	×0.00003 0	×0.00003 0.00000075	
	Mono-ortho PCBs	—	—	8.6	0.00025	0.00026	
Total Co-PCBs		—	—	11	0.00048	0.0070	
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	13	0.00084	0.054	

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。

2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。

3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。

4. 毒性当量 * 1: 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。

* 2: 検出下限未満の数値は検出下限値の1/2の値を用いて算出する。

5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-2-1-5 ダイオキシン類調査結果（水質：St. 4）

試料名		St.4		試料媒体		水質	
採取日		2025年1月23日		試料量 (L)		20.2	
		検出下限値	定量下限値	実測濃度	毒性当量		
					WHO-TEF,2006 *1	WHO-TEF,2006 *2	
		pg/L	pg/L	pg/L	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L	
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.03	0.09	(0.08)	—	—	
	1,3,7,9-TeCDD	0.03	0.09	(0.04)	—	—	
	2,3,7,8-TeCDD	0.03	0.09	N.D.	×1 0	×1 0.015	
	TeCDDs	0.03	0.09	0.16	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.02	0.07	N.D.	×1 0	×1 0.01	
	PeCDDs	0.02	0.07	N.D.	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.04	0.14	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.002	
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.05	0.15	N.D.	0	0.0025	
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.05	0.15	N.D.	0	0.0025	
	HxCDDs	0.04	0.14	0.26	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.05	0.18	N.D.	×0.01 0	×0.01 0.00025	
	HpCDDs	0.05	0.18	(0.13)	—	—	
OCDD	0.05	0.17	1.1	×0.0003 0.00033	×0.0003 0.00033		
Total PCDDs	—	—	1.7	0.00033	0.033		
ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	0.03	0.09	N.D.	—	—	
	2,3,7,8-TeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0015	
	TeCDFs	0.03	0.09	N.D.	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.00045	
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.3 0	×0.3 0.0045	
	PeCDFs	0.03	0.09	N.D.	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.03	0.10	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0015	
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.03	0.11	N.D.	0	0.0015	
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.05	0.18	N.D.	0	0.0025	
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.03	0.12	N.D.	0	0.0015	
	HxCDFs	0.03	0.10	N.D.	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.03	0.11	N.D.	×0.01 0	×0.01 0.00015	
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.05	0.15	N.D.	0	0.00025	
	HpCDFs	0.03	0.11	N.D.	—	—	
	OCDF	0.05	0.18	(0.10)	×0.0003 0	×0.0003 0.000030	
Total PCDFs	—	—	(0.10)	0	0.014		
Total PCDDs+PCDFs	—	—	1.8	0.00033	0.046		
COPBS	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.03	0.10	1.8	×0.0001 0.00018	×0.0001 0.00018	
	3,4,4',5-TeCB(#81)	0.03	0.11	(0.09)	×0.0003 0	×0.0003 0.000027	
	3,3',4,4',5-PeCB(#126)	0.04	0.14	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.002	
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.03	0.09	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.00045	
	Non-ortho PCBs	—	—	1.9	0.00018	0.0027	
	2',3,4,4',5-PeCB(#123)	0.04	0.12	(0.07)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000021	
	2,3',4,4',5-PeCB(#118)	0.06	0.18	4.5	×0.00003 0.000135	×0.00003 0.000135	
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.04	0.14	2.2	×0.00003 0.000066	×0.00003 0.000066	
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	0.04	0.12	0.16	×0.00003 0.0000048	×0.00003 0.0000048	
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.05	0.18	(0.08)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000024	
	2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)	0.05	0.16	0.24	×0.00003 0.0000072	×0.00003 0.0000072	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.04	0.15	(0.07)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000021	
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.05	0.16	N.D.	×0.00003 0	×0.00003 0.00000075	
	Mono-ortho PCBs	—	—	7.2	0.00021	0.00022	
	Total Co-PCBs	—	—	9.2	0.00039	0.0029	
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	—	—	11	0.00072	0.049		

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。

2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。

3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。

4. 毒性当量 * 1 : 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。

* 2 : 検出下限未満の数値は検出下限値の1/2の値を用いて算出する。

5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-2-1-6 ダイオキシン類調査結果（水質：St. S-1）

試料名		St.S-1		試料媒体	水質	
採取日		2025年1月23日		試料量 (L)	20.4	
		検出下限値	定量下限値	実測濃度	毒性当量	
					WHO-TEF,2006 *1	WHO-TEF,2006 *2
		pg/L	pg/L	pg/L	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.03	0.09	0.10	—	—
	1,3,7,9-TeCDD	0.03	0.09	(0.05)	—	—
	2,3,7,8-TeCDD	0.03	0.09	N.D.	×1 0	×1 0.015
	TeCDDs	0.03	0.09	0.19	—	—
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.02	0.07	N.D.	×1 0	×1 0.01
	PeCDDs	0.02	0.07	N.D.	—	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.04	0.14	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.002
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.05	0.15	N.D.	0	0.0025
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.04	0.15	N.D.	0	0.002
	HxCDDs	0.04	0.14	0.41	—	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.05	0.18	0.28	×0.01 0.0028	×0.01 0.0028
	HpCDDs	0.05	0.18	0.80	—	—
	OCDD	0.05	0.16	2.3	×0.0003 0.00069	×0.0003 0.00069
Total PCDDs		—	—	3.7	0.0035	0.035
ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	0.03	0.09	N.D.	—	—
	2,3,7,8-TeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0015
	TeCDFs	0.03	0.09	N.D.	—	—
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.00045
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.3 0	×0.3 0.0045
	PeCDFs	0.03	0.09	N.D.	—	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.03	0.10	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0015
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.03	0.11	N.D.	0	0.0015
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.05	0.18	N.D.	0	0.0025
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.03	0.12	N.D.	0	0.0015
	HxCDFs	0.03	0.10	N.D.	—	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.03	0.11	N.D.	×0.01 0	×0.01 0.00015
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.05	0.15	N.D.	0	0.00025
	HpCDFs	0.03	0.11	(0.06)	—	—
	OCDF	0.05	0.18	(0.07)	×0.0003 0	×0.0003 0.000021
Total PCDFs		—	—	(0.12)	0	0.014
Total PCDDs+PCDFs		—	—	3.8	0.0035	0.049
COPCBs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.03	0.10	2.4	×0.0001 0.00024	×0.0001 0.00024
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.03	0.11	(0.11)	×0.0003 0	×0.0003 0.000033
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.04	0.14	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.002
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.03	0.09	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.00045
	Non-ortho PCBs	—	—	2.5	0.00024	0.0027
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.04	0.12	(0.10)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000030
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.05	0.18	5.9	×0.00003 0.000177	×0.00003 0.000177
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.04	0.14	2.8	×0.00003 0.000084	×0.00003 0.000084
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	0.04	0.12	0.16	×0.00003 0.0000048	×0.00003 0.0000048
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.05	0.17	(0.11)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000033
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.05	0.16	0.31	×0.00003 0.0000093	×0.00003 0.0000093
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.04	0.14	N.D.	×0.00003 0	×0.00003 0.0000006
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.05	0.15	N.D.	×0.00003 0	×0.00003 0.00000075
	Mono-ortho PCBs	—	—	9.4	0.00028	0.00028
Total Co-PCBs		—	—	12	0.00052	0.0030
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	16	0.0040	0.052

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。

2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。

3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。

4. 毒性当量 * 1 : 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。

* 2 : 検出下限未満の数値は検出下限値の1/2の値を用いて算出する。

5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-2-1-7 ダイオキシン類調査結果（水質：St. S-2）

試料名		St.S-2		試料媒体	水質	
採取日		2025年1月23日		試料量 (L)	20.2	
		検出下限値	定量下限値	実測濃度	毒性当量	
					WHO-TEF,2006 *1	WHO-TEF,2006 *2
		pg/L	pg/L	pg/L	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.03	0.09	0.10	—	—
	1,3,7,9-TeCDD	0.03	0.09	(0.04)	—	—
	2,3,7,8-TeCDD	0.03	0.09	N.D.	×1 0	×1 0.015
	TeCDDs	0.03	0.09	0.17	—	—
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.02	0.07	N.D.	×1 0	×1 0.01
	PeCDDs	0.02	0.07	N.D.	—	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.04	0.14	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.002
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.05	0.15	N.D.	0	0.0025
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.05	0.15	N.D.	0	0.0025
	HxCDDs	0.04	0.14	(0.10)	—	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.05	0.18	(0.10)	×0.01 0	×0.01 0.0010
	HpCDDs	0.05	0.18	0.29	—	—
	OCDD	0.05	0.17	1.2	×0.0003 0.00036	×0.0003 0.00036
Total PCDDs		—	—	1.8	0.00036	0.033
ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	0.03	0.09	N.D.	—	—
	2,3,7,8-TeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0015
	TeCDFs	0.03	0.09	0.12	—	—
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.00045
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.3 0	×0.3 0.0045
	PeCDFs	0.03	0.09	N.D.	—	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.03	0.10	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0015
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.03	0.11	N.D.	0	0.0015
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.05	0.18	N.D.	0	0.0025
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.03	0.12	N.D.	0	0.0015
	HxCDFs	0.03	0.10	N.D.	—	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.03	0.11	(0.04)	×0.01 0	×0.01 0.0004
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.05	0.15	N.D.	0	0.00025
	HpCDFs	0.03	0.11	(0.04)	—	—
	OCDF	0.05	0.18	N.D.	×0.0003 0	×0.0003 0.0000075
Total PCDFs		—	—	0.16	0	0.014
Total PCDDs+PCDFs		—	—	2.0	0.00036	0.047
COPCBs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.03	0.10	2.9	×0.0001 0.00029	×0.0001 0.00029
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.03	0.11	0.13	×0.0003 0.000039	×0.0003 0.000039
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.04	0.14	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.002
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.03	0.09	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.00045
	Non-ortho PCBs	—	—	3.0	0.00033	0.0028
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.04	0.12	0.16	×0.00003 0.0000048	×0.00003 0.0000048
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.06	0.19	8.8	×0.00003 0.000264	×0.00003 0.000264
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.04	0.14	3.9	×0.00003 0.000117	×0.00003 0.000117
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	0.04	0.12	0.25	×0.00003 0.0000075	×0.00003 0.0000075
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.05	0.18	(0.17)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000051
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.05	0.16	0.33	×0.00003 0.0000099	×0.00003 0.0000099
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.04	0.15	(0.09)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000027
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.05	0.16	N.D.	×0.00003 0	×0.00003 0.00000075
	Mono-ortho PCBs	—	—	14	0.00040	0.00041
Total Co-PCBs		—	—	17	0.00073	0.0032
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	19	0.0011	0.051

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。

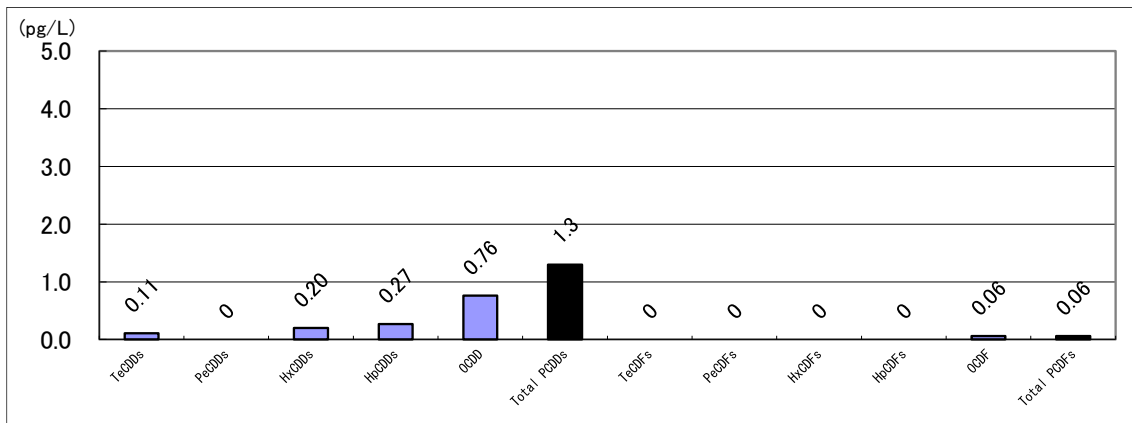
2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。

3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。

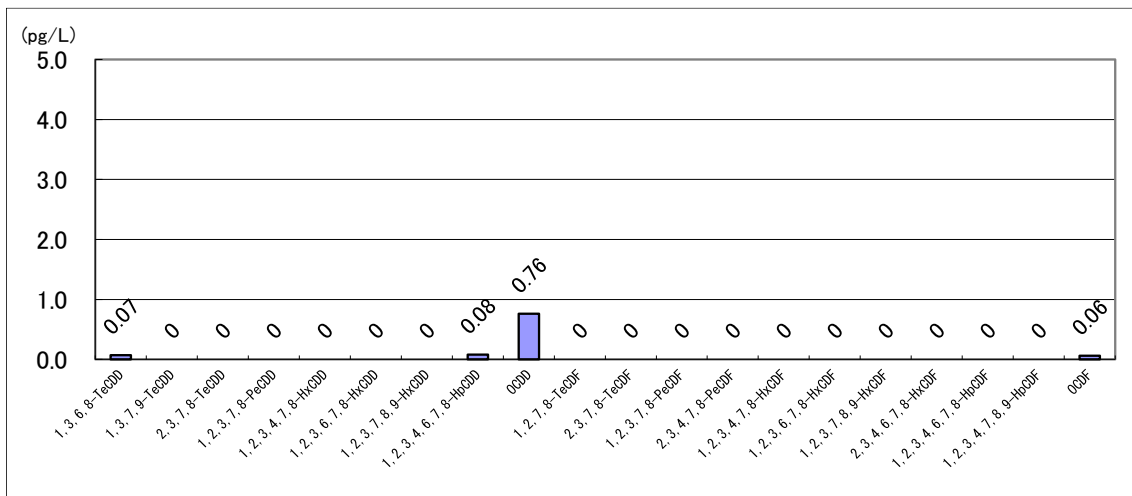
4. 毒性当量 * 1 : 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。

* 2 : 検出下限未満の数値は検出下限値の1/2の値を用いて算出する。

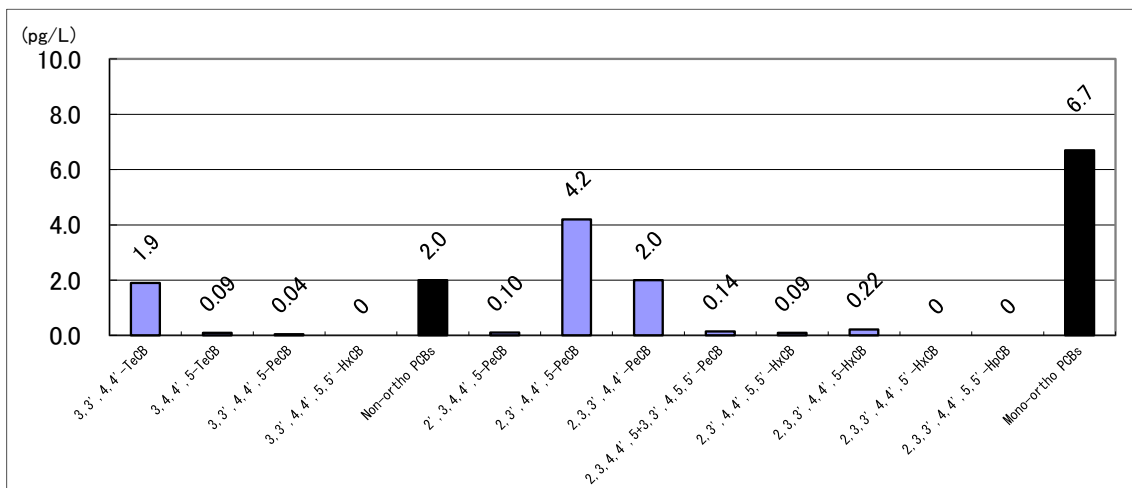
5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。



ダイオキシン類同族体組成（実測濃度）

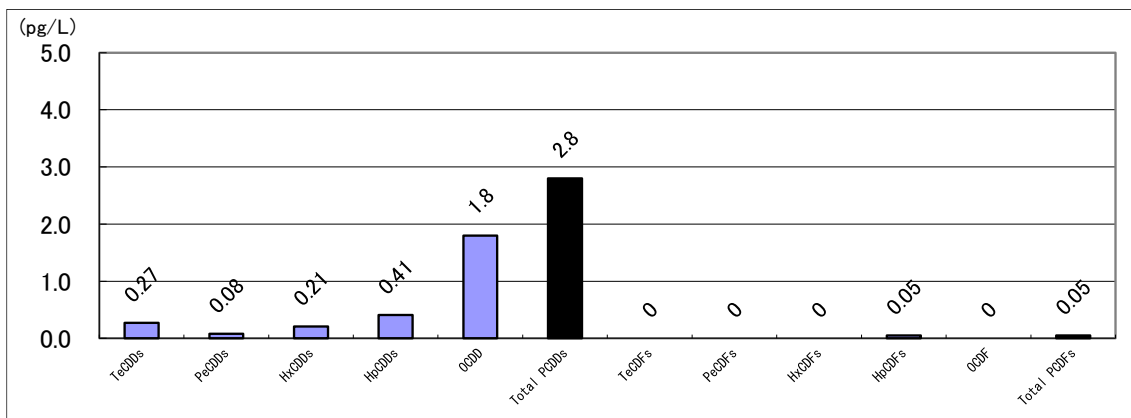


ダイオキシン類 2,3,7,8-位塩素置換異性体組成（実測濃度）

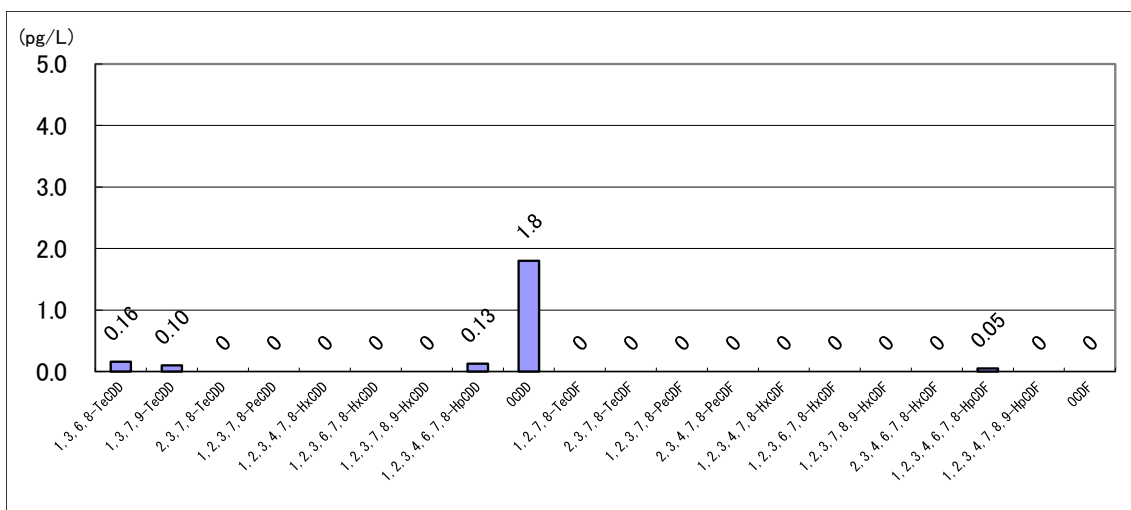


Co-PCBs 異性体組成（実測濃度）

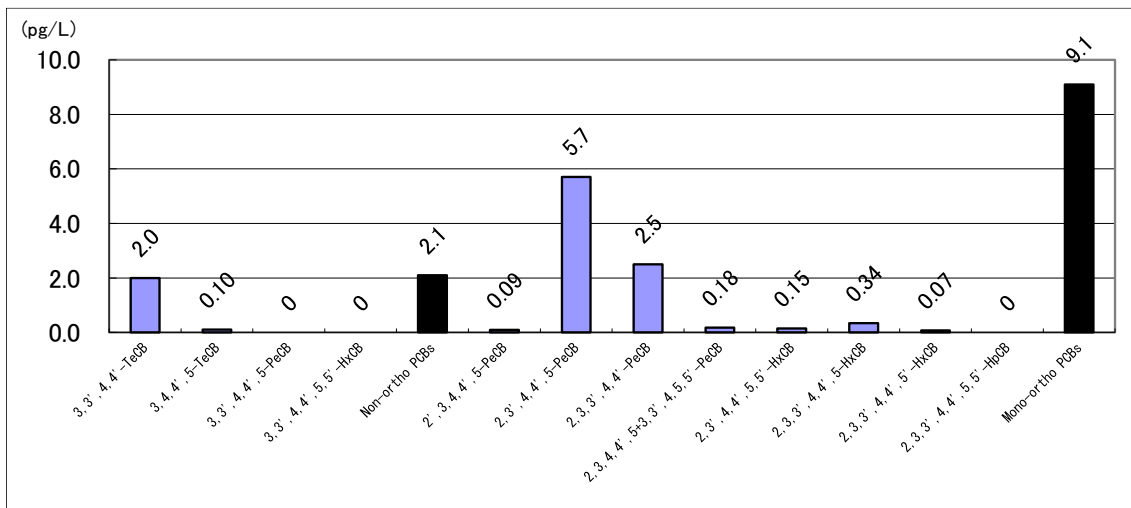
図 4-2-1-1 同族体および異性体の組成（水質：St. 1）



ダイオキシン類同族体組成（実測濃度）

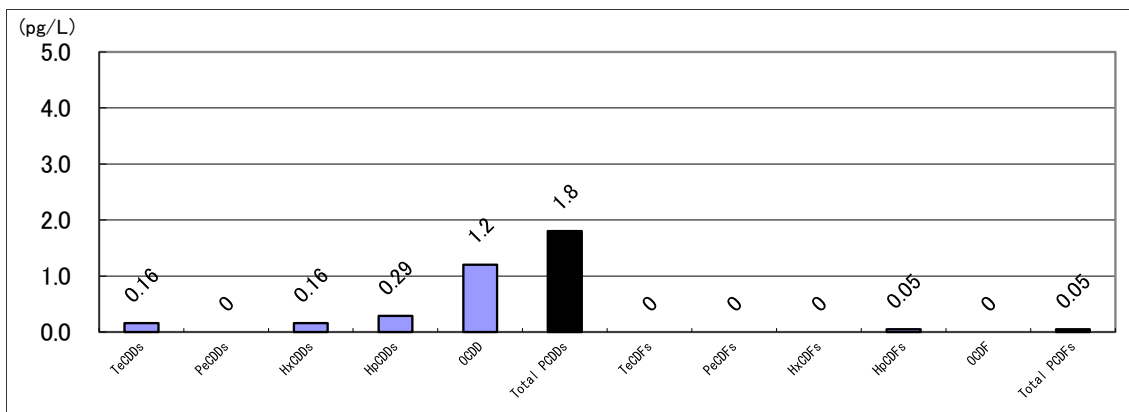


ダイオキシン類 2,3,7,8-位塩素置換異性体組成（実測濃度）

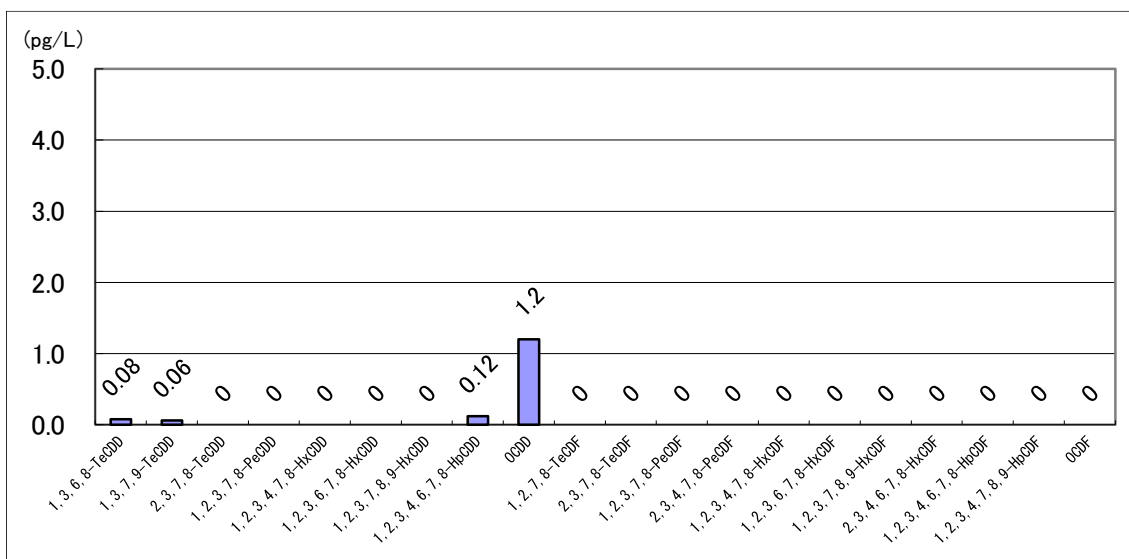


Co-PCBs 異性体組成（実測濃度）

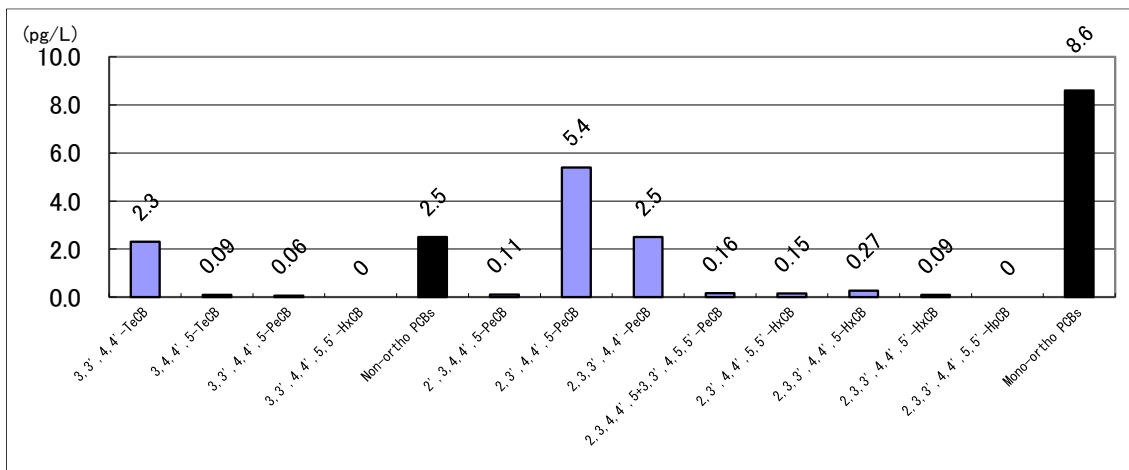
図 4-2-1-2 同族体および異性体の組成（水質：St. 2）



ダイオキシン類同族体組成（実測濃度）

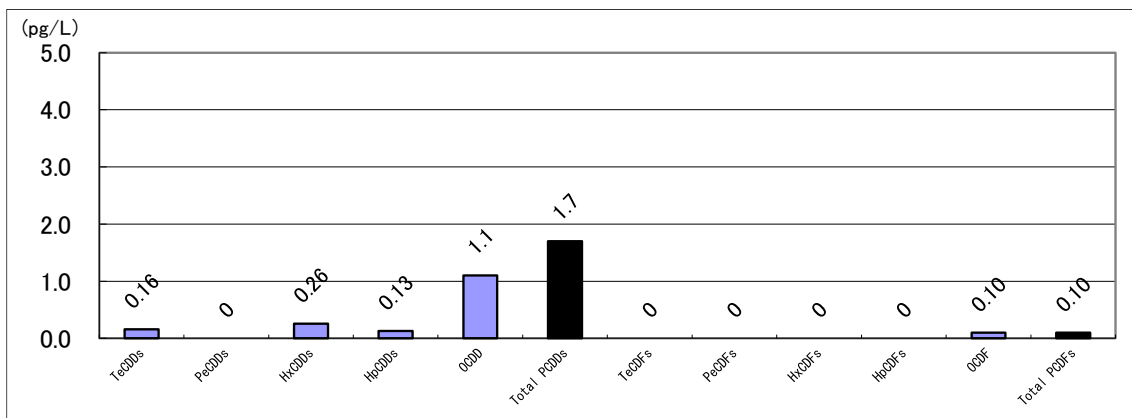


ダイオキシン類 2,3,7,8-位塩素置換異性体組成（実測濃度）

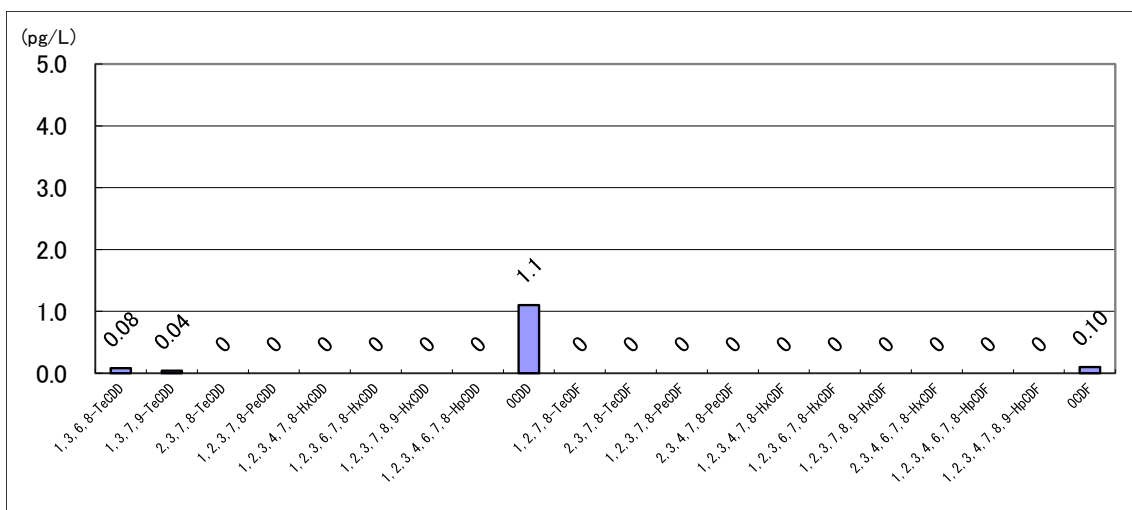


Co-PCBs 異性体組成（実測濃度）

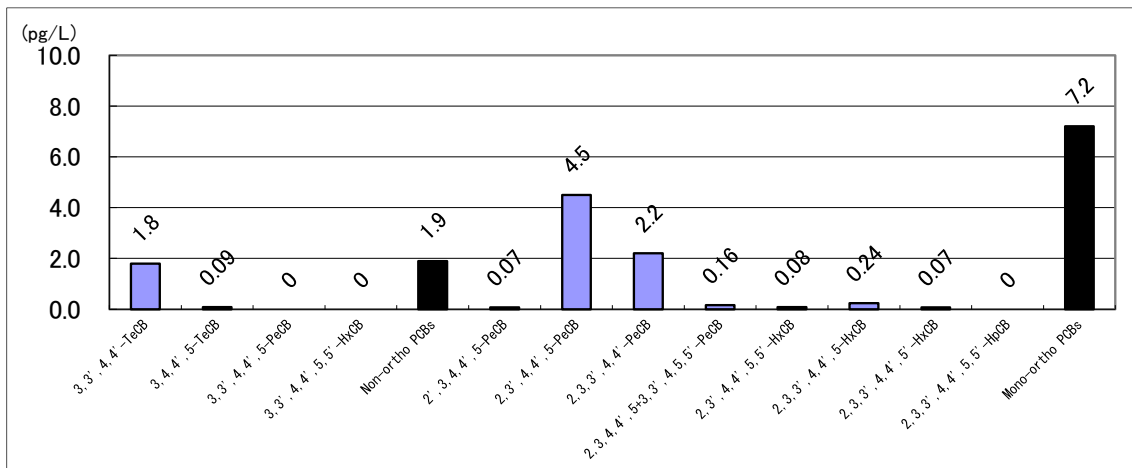
図 4-2-1-3 同族体および異性体の組成（水質：St. 3）



ダイオキシン類同族体組成（実測濃度）

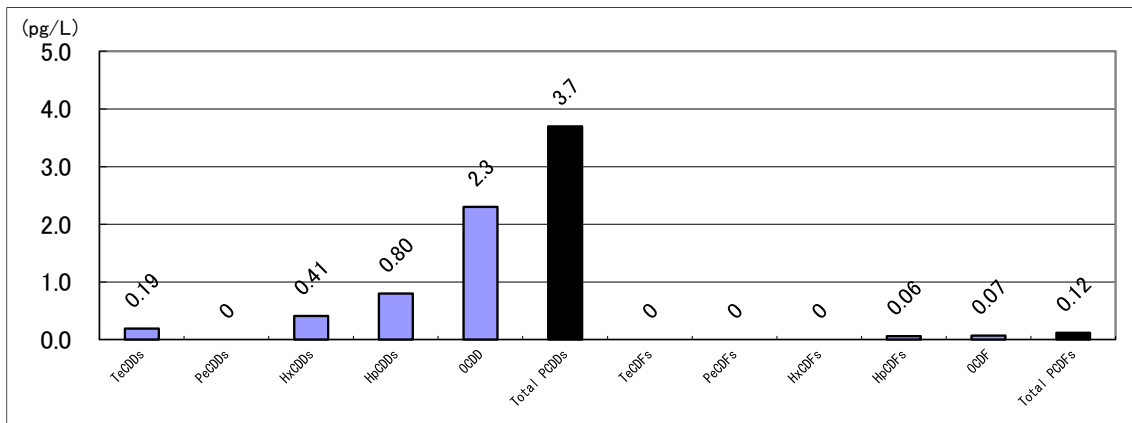


ダイオキシン類 2,3,7,8-位塩素置換異性体組成（実測濃度）

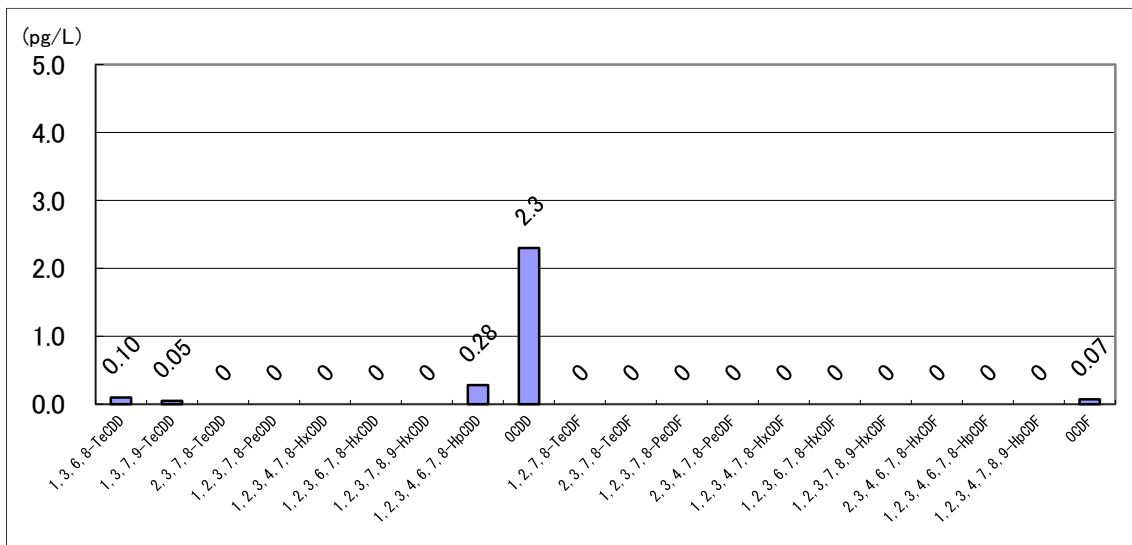


Co-PCBs 異性体組成（実測濃度）

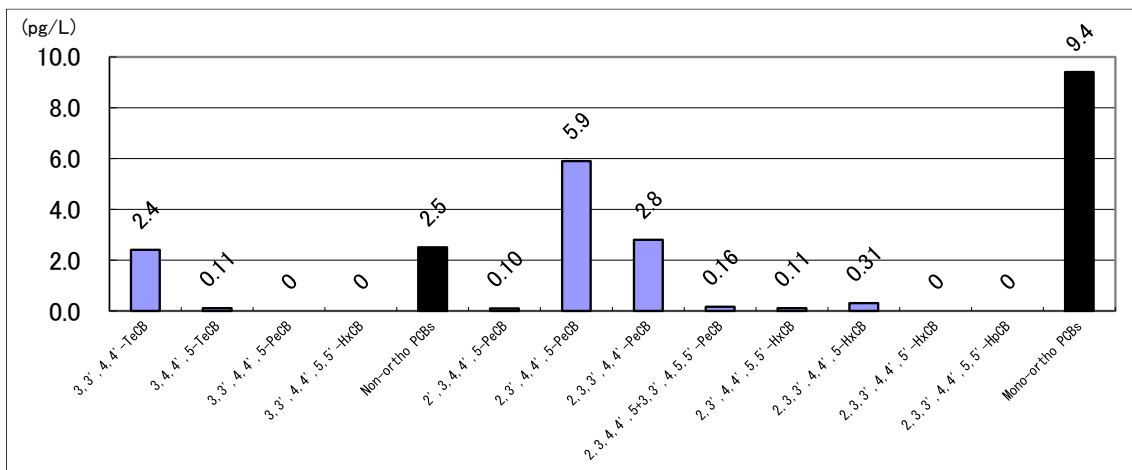
図 4-2-1-4 同族体および異性体の組成（水質：St. 4）



ダイオキシン類同族体組成（実測濃度）

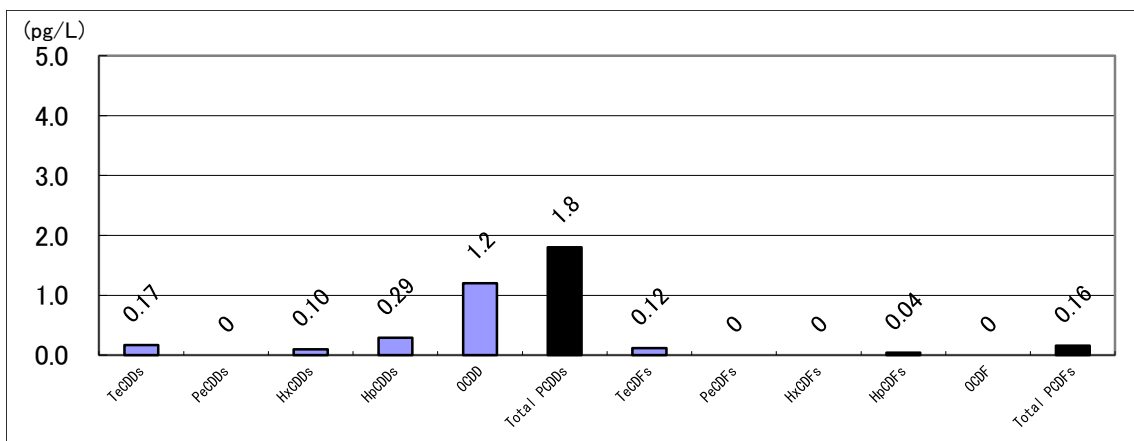


ダイオキシン類 2,3,7,8-位塩素置換異性体組成（実測濃度）

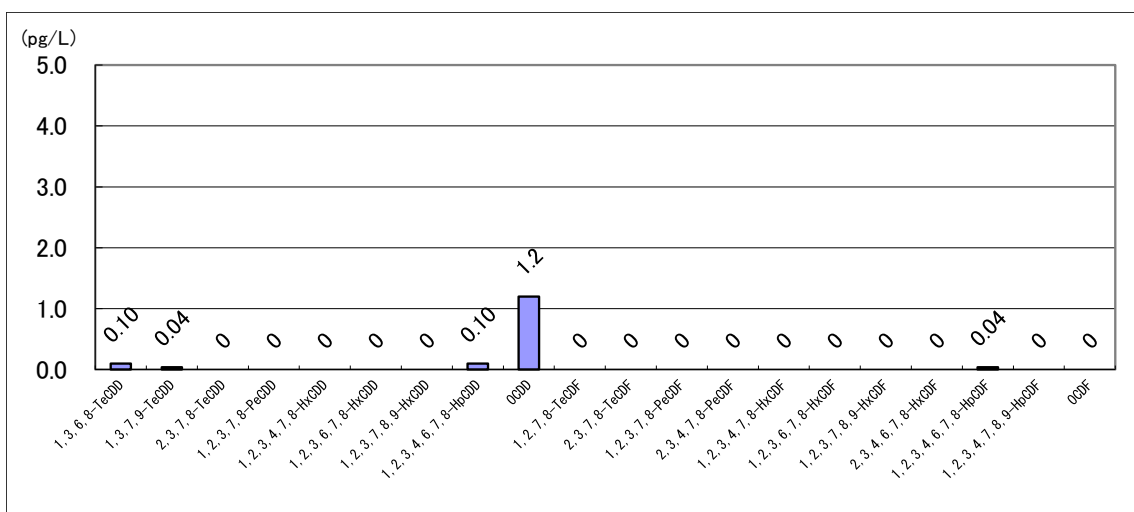


Co-PCBs 異性体組成（実測濃度）

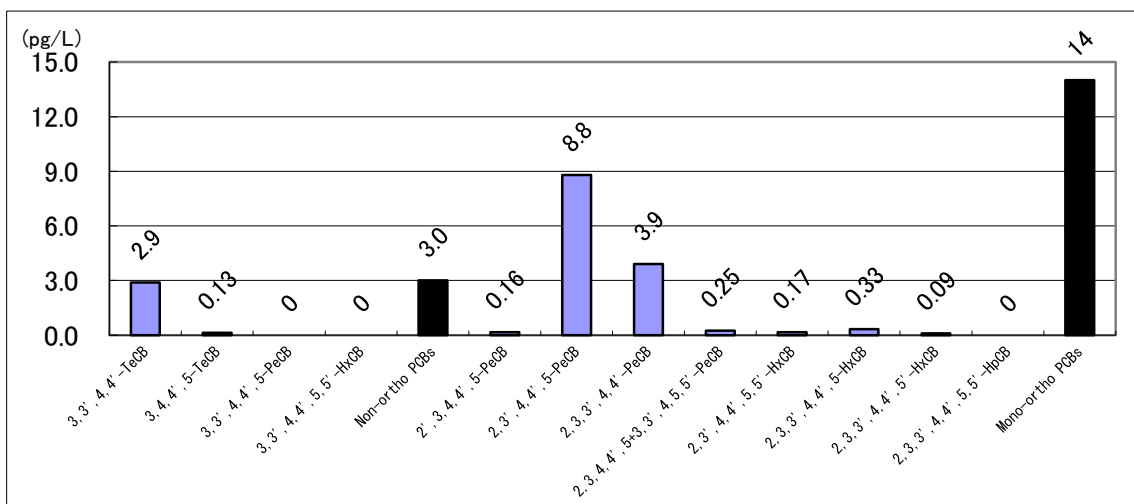
図 4-2-1-5 同族体および異性体の組成（水質：St. S-1）



ダイオキシン類同族体組成（実測濃度）



ダイオキシン類 2,3,7,8-位塩素置換異性体組成（実測濃度）



Co-PCBs 異性体組成（実測濃度）

図 4-2-1-6 同族体および異性体の組成（水質：St. S-2）

4-2-2 底質調査結果

分析結果概要を表4-2-2-1～表4-2-2-2、異性体および同族体別調査結果を表4-2-2-3～表4-2-2-10に示す。また、同族体および異性体のパターンを図4-2-2-1～図4-2-2-4に示す。

本調査の結果は、含有試験では2.9～13pg-TEQ/gであり、各地点とも環境基準を下回っていた。溶出試験では0.0017～0.015であり、各地点とも環境基準を下回っていた。

令和5年度「大阪府ダイオキシン類常時監視結果」（巻末参考資料参照）によると、大阪湾における底質の濃度は1.1～16pg-TEQ/gであり、今回の結果はそれらの結果と比較するとほぼ同じ値であった。

表 4 - 2 - 2 - 1 分析結果概要（底質）

試料名	試験項目	実測濃度 (pg/g-dry)	毒性当量
			(pg-TEQ/g)
St.1	PCDDs+PCDFs	1200	3.0
	Co-PCBs	400	0.22
	ダイオキシン類	－	3.2
St.2	PCDDs+PCDFs	3900	11
	Co-PCBs	1600	0.79
	ダイオキシン類	－	12
St.3	PCDDs+PCDFs	850	2.7
	Co-PCBs	380	0.22
	ダイオキシン類	－	2.9
St.4	PCDDs+PCDFs	4300	12
	Co-PCBs	1900	1.0
	ダイオキシン類	－	13

この表は、ダイオキシン類測定結果から一部のデータを抜粋した参考資料である。

毒性当量：2, 3, 7, 8-T₄CDD 毒性当量を示す。

毒性等価係数は以下の係数を適用した。

PCDDs, PCDFs：WHO/IPCS（2006）

Co-PCBs：WHO/IPCS(2006)

毒性当量は検出下限未満のものは、試料における検出下限の 1/2 の値を用いて算出したものである。

表 4 - 4 - 2 - 2 分析結果概要（底質・溶出試験）

試料名	試験項目	実測濃度 (pg/L)	毒性当量
			(pg-TEQ/L)
St.1	PCDDs+PCDFs	25	0.014
	Co-PCBs	22	0.00091
	ダイオキシン類	47	0.014
St.2	PCDDs+PCDFs	10	0.00087
	Co-PCBs	21	0.00088
	ダイオキシン類	31	0.0017
St.3	PCDDs+PCDFs	22	0.014
	Co-PCBs	24	0.00095
	ダイオキシン類	46	0.015
St.4	PCDDs+PCDFs	25	0.0056
	Co-PCBs	16	0.00078
	ダイオキシン類	41	0.0064

この表は、ダイオキシン類測定結果から一部のデータを抜粋した参考資料である。

毒性当量：2, 3, 7, 8-TCDD 毒性当量を示す。

毒性等価係数は以下の係数を適用した。

PCDDs, PCDFs : WHO/IPCS (2006)

Co-PCBs : WHO/IPCS (2006)

毒性当量は定量下限未満の実測濃度を 0 として算出した。

表4-2-2-3 ダイオキシン類調査結果（底質・含有試験：St.1）

試料名		St.1		試料媒体		底質	
採取日		2025年1月23日		試料量 (g-dry)		5.2	
		検出下限値	定量下限値	実測濃度	毒性当量		
					WHO-TEF,2006 *1	WHO-TEF,2006 *2	
		pg/g-dry	pg/g-dry	pg/g-dry	pg-TEQ/g-dry	pg-TEQ/g-dry	
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.07	0.22	14	—	—	
	1,3,7,9-TeCDD	0.07	0.22	6.7	—	—	
	2,3,7,8-TeCDD	0.07	0.22	(0.10)	×1 0	×1 0.10	
	TeCDDs	0.07	0.22	25	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.06	0.18	0.56	×1 0.56	×1 0.56	
	PeCDDs	0.06	0.18	19	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.1	0.3	1.2	×0.1 0.12	×0.1 0.12	
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.1	0.4	2.6	0.26	0.26	
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.08	0.28	2.6	0.26	0.26	
	HxCDDs	0.08	0.28	73	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.1	0.3	51	×0.01 0.51	×0.01 0.51	
	HpCDDs	0.1	0.3	180	—	—	
OCDD	0.07	0.25	810	×0.0003 0.243	×0.0003 0.243		
Total PCDDs		—	—	1100	2.0	2.1	
ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	0.1	0.3	0.8	—	—	
	2,3,7,8-TeCDF	0.1	0.3	0.8	×0.1 0.08	×0.1 0.08	
	TeCDFs	0.1	0.3	16	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.1	0.4	0.8	×0.03 0.024	×0.03 0.024	
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.1	0.3	0.8	×0.3 0.24	×0.3 0.24	
	PeCDFs	0.1	0.3	16	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.08	0.27	2.0	×0.1 0.20	×0.1 0.20	
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.1	0.4	1.3	0.13	0.13	
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.05	0.15	0.16	0.016	0.016	
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.1	0.3	1.3	0.13	0.13	
	HxCDFs	0.05	0.15	16	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.07	0.22	9.1	×0.01 0.091	×0.01 0.091	
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.1	0.4	1.0	0.010	0.010	
	HpCDFs	0.07	0.22	16	—	—	
	OCDF	0.1	0.3	11	×0.0003 0.0033	×0.0003 0.0033	
	Total PCDFs		—	—	75	0.92	0.92
Total PCDDs+PCDFs		—	—	1200	2.9	3.0	
COPs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.09	0.31	60	×0.0001 0.0060	×0.0001 0.0060	
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.08	0.26	1.7	×0.0003 0.00051	×0.0003 0.00051	
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.08	0.27	1.9	×0.1 0.19	×0.1 0.19	
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.09	0.30	0.39	×0.03 0.0117	×0.03 0.0117	
	Non-ortho PCBs	—	—	64	0.21	0.21	
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.08	0.27	3.7	×0.00003 0.000111	×0.00003 0.000111	
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.1	0.3	230	×0.00003 0.0069	×0.00003 0.0069	
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.1	0.3	61	×0.00003 0.00183	×0.00003 0.00183	
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	0.1	0.3	2.7	×0.00003 0.000081	×0.00003 0.000081	
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.1	0.3	11	×0.00003 0.00033	×0.00003 0.00033	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.08	0.27	22	×0.00003 0.00066	×0.00003 0.00066	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.1	0.4	5.5	×0.00003 0.000165	×0.00003 0.000165	
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.08	0.27	3.0	×0.00003 0.000090	×0.00003 0.000090	
	Mono-ortho PCBs	—	—	340	0.010	0.010	
	Total Co-PCBs	—	—	400	0.22	0.22	
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	1600	3.1	3.2	

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。

2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。

3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。

4. 毒性当量 * 1: 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。

* 2: 検出下限未満の数値は検出下限値の1/2の値を用いて算出する。

5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-2-2-4 ダイオキシン類調査結果（底質・含有試験：St. 2）

試料名		St.2		試料媒体	底質	
採取日		2025年1月23日		試料量 (g-dry)	5.1	
		検出下限値	定量下限値	実測濃度	毒性当量	
					WHO-TEF,2006 *1	WHO-TEF,2006 *2
		pg/g-dry	pg/g-dry	pg/g-dry	pg-TEQ/g-dry	pg-TEQ/g-dry
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.07	0.22	64	—	—
	1,3,7,9-TeCDD	0.07	0.22	30	—	—
	2,3,7,8-TeCDD	0.07	0.22	0.56	×1 0.56	×1 0.56
	TeCDDs	0.07	0.22	110	—	—
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.06	0.19	2.2	×1 2.2	×1 2.2
	PeCDDs	0.06	0.19	61	—	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.1	0.3	3.7	×0.1 0.37	×0.1 0.37
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.1	0.4	8.3	0.83	0.83
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.09	0.29	8.4	0.84	0.84
	HxCDDs	0.09	0.29	190	—	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.1	0.3	170	×0.01 1.7	×0.01 1.7
	HpCDDs	0.1	0.3	550	—	—
	OCDD	0.08	0.25	2700	×0.0003 0.81	×0.0003 0.81
Total PCDDs		—	—	3600	7.3	7.3
ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	0.1	0.4	2.5	—	—
	2,3,7,8-TeCDF	0.1	0.4	2.6	×0.1 0.26	×0.1 0.26
	TeCDFs	0.1	0.4	54	—	—
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.1	0.4	3.1	×0.03 0.093	×0.03 0.093
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.1	0.4	3.0	×0.3 0.90	×0.3 0.90
	PeCDFs	0.1	0.4	61	—	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.08	0.28	6.7	×0.1 0.67	×0.1 0.67
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.1	0.4	5.6	0.56	0.56
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.05	0.16	0.39	0.039	0.039
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.1	0.3	5.7	0.57	0.57
	HxCDFs	0.05	0.16	58	—	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.07	0.23	33	×0.01 0.33	×0.01 0.33
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.1	0.4	3.6	0.036	0.036
	HpCDFs	0.07	0.23	63	—	—
	OCDF	0.1	0.3	43	×0.0003 0.0129	×0.0003 0.0129
Total PCDFs		—	—	280	3.5	3.5
Total PCDDs+PCDFs		—	—	3900	11	11
COPCBs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.09	0.31	210	×0.0001 0.021	×0.0001 0.021
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.08	0.27	5.0	×0.0003 0.00150	×0.0003 0.00150
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.08	0.28	6.9	×0.1 0.69	×0.1 0.69
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.09	0.30	1.4	×0.03 0.042	×0.03 0.042
	Non-ortho PCBs	—	—	220	0.75	0.75
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.08	0.27	13	×0.00003 0.00039	×0.00003 0.00039
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.1	0.3	880	×0.00003 0.0264	×0.00003 0.0264
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.1	0.3	280	×0.00003 0.0084	×0.00003 0.0084
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	0.1	0.3	11	×0.00003 0.00033	×0.00003 0.00033
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.1	0.4	38	×0.00003 0.00114	×0.00003 0.00114
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.08	0.28	84	×0.00003 0.00252	×0.00003 0.00252
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.1	0.4	23	×0.00003 0.00069	×0.00003 0.00069
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.08	0.28	8.3	×0.00003 0.000249	×0.00003 0.000249
	Mono-ortho PCBs	—	—	1300	0.040	0.040
Total Co-PCBs		—	—	1600	0.79	0.79
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	5400	12	12

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。

2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。

3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。

4. 毒性当量 * 1: 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。

* 2: 検出下限未満の数値は検出下限値の1/2の値を用いて算出する。

5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-2-2-5 ダイオキシン類調査結果（底質・含有試験：St. 3）

試料名		St.3		試料媒体	底質	
採取日		2025年1月23日		試料量 (g-dry)	5.2	
		検出下限値	定量下限値	実測濃度	毒性当量	
					WHO-TEF,2006 *1	WHO-TEF,2006 *2
		pg/g-dry	pg/g-dry	pg/g-dry	pg-TEQ/g-dry	pg-TEQ/g-dry
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.07	0.22	18	—	—
	1,3,7,9-TeCDD	0.07	0.22	7.8	—	—
	2,3,7,8-TeCDD	0.07	0.22	(0.13)	×1 0	×1 0.13
	TeCDDs	0.07	0.22	30	—	—
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.06	0.18	0.55	×1 0.55	×1 0.55
	PeCDDs	0.06	0.18	27	—	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.1	0.3	1.0	×0.1 0.10	×0.1 0.10
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.1	0.4	2.3	0.23	0.23
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.08	0.28	2.0	0.20	0.20
	HxCDDs	0.08	0.28	63	—	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.1	0.3	37	×0.01 0.37	×0.01 0.37
	HpCDDs	0.1	0.3	120	—	—
	OCDD	0.07	0.25	540	×0.0003 0.162	×0.0003 0.162
Total PCDDs		—	—	780	1.6	1.7
ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	0.1	0.3	0.6	—	—
	2,3,7,8-TeCDF	0.1	0.3	0.7	×0.1 0.07	×0.1 0.07
	TeCDFs	0.1	0.3	14	—	—
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.1	0.4	0.8	×0.03 0.024	×0.03 0.024
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.1	0.4	1.1	×0.3 0.33	×0.3 0.33
	PeCDFs	0.1	0.4	16	—	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.08	0.27	1.7	×0.1 0.17	×0.1 0.17
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.1	0.4	1.2	0.12	0.12
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.05	0.15	0.21	0.021	0.021
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.1	0.3	1.4	0.14	0.14
	HxCDFs	0.05	0.15	13	—	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.07	0.23	7.4	×0.01 0.074	×0.01 0.074
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.1	0.4	1.1	0.011	0.011
	HpCDFs	0.07	0.23	14	—	—
	OCDF	0.1	0.3	10	×0.0003 0.0030	×0.0003 0.0030
Total PCDFs		—	—	67	0.96	0.96
Total PCDDs+PCDFs		—	—	850	2.6	2.7
COPCBs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.09	0.31	59	×0.0001 0.0059	×0.0001 0.0059
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.08	0.26	1.5	×0.0003 0.00045	×0.0003 0.00045
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.08	0.27	1.9	×0.1 0.19	×0.1 0.19
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.09	0.30	0.47	×0.03 0.0141	×0.03 0.0141
	Non-ortho PCBs	—	—	63	0.21	0.21
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.08	0.27	3.2	×0.00003 0.000096	×0.00003 0.000096
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.1	0.3	210	×0.00003 0.0063	×0.00003 0.0063
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.1	0.3	61	×0.00003 0.00183	×0.00003 0.00183
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	0.1	0.3	2.8	×0.00003 0.000084	×0.00003 0.000084
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.1	0.3	9.8	×0.00003 0.000294	×0.00003 0.000294
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.08	0.27	23	×0.00003 0.00069	×0.00003 0.00069
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.1	0.4	6.0	×0.00003 0.000180	×0.00003 0.000180
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.08	0.27	3.6	×0.00003 0.000108	×0.00003 0.000108
	Mono-ortho PCBs	—	—	320	0.0096	0.0096
Total Co-PCBs		—	—	380	0.22	0.22
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	1200	2.8	2.9

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。

2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。

3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。

4. 毒性当量 * 1 : 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。

* 2 : 検出下限未満の数値は検出下限値の1/2の値を用いて算出する。

5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-2-2-6 ダイオキシン類調査結果（底質・含有試験：St. 4）

試料名		St.4		試料媒体	底質	
採取日		2025年1月23日		試料量 (g-dry)	4.9	
		検出下限値	定量下限値	実測濃度	毒性当量	
					WHO-TEF,2006 *1	WHO-TEF,2006 *2
		pg/g-dry	pg/g-dry	pg/g-dry	pg-TEQ/g-dry	pg-TEQ/g-dry
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.07	0.23	86	—	—
	1,3,7,9-TeCDD	0.07	0.23	38	—	—
	2,3,7,8-TeCDD	0.07	0.23	0.39	×1 0.39	×1 0.39
	TeCDDs	0.07	0.23	140	—	—
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.06	0.19	2.0	×1 2.0	×1 2.0
	PeCDDs	0.06	0.19	64	—	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.1	0.4	4.0	×0.1 0.40	×0.1 0.40
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.1	0.4	8.4	0.84	0.84
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.09	0.29	8.8	0.88	0.88
	HxCDDs	0.09	0.29	180	—	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.1	0.3	190	×0.01 1.9	×0.01 1.9
	HpCDDs	0.1	0.3	570	—	—
	OCDD	0.08	0.26	3000	×0.0003 0.9	×0.0003 0.9
Total PCDDs		—	—	4000	7.3	7.3
ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	0.1	0.4	2.9	—	—
	2,3,7,8-TeCDF	0.1	0.4	3.7	×0.1 0.37	×0.1 0.37
	TeCDFs	0.1	0.4	66	—	—
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.1	0.4	3.6	×0.03 0.108	×0.03 0.108
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.1	0.4	4.5	×0.3 1.35	×0.3 1.35
	PeCDFs	0.1	0.4	73	—	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.09	0.29	8.0	×0.1 0.80	×0.1 0.80
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.1	0.4	6.5	0.65	0.65
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.05	0.16	0.66	0.066	0.066
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.1	0.4	7.5	0.75	0.75
	HxCDFs	0.05	0.16	72	—	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.07	0.24	42	×0.01 0.42	×0.01 0.42
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.1	0.4	5.4	0.054	0.054
	HpCDFs	0.07	0.24	80	—	—
	OCDF	0.1	0.3	53	×0.0003 0.0159	×0.0003 0.0159
Total PCDFs		—	—	340	4.6	4.6
Total PCDDs+PCDFs		—	—	4300	12	12
COPCBs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.1	0.3	190	×0.0001 0.019	×0.0001 0.019
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.08	0.28	5.0	×0.0003 0.00150	×0.0003 0.00150
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.09	0.29	9.1	×0.1 0.91	×0.1 0.91
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.09	0.31	1.8	×0.03 0.054	×0.03 0.054
	Non-ortho PCBs	—	—	200	0.98	0.98
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.08	0.28	18	×0.00003 0.00054	×0.00003 0.00054
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.1	0.3	1100	×0.00003 0.033	×0.00003 0.033
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.1	0.3	350	×0.00003 0.0105	×0.00003 0.0105
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	0.1	0.3	14	×0.00003 0.00042	×0.00003 0.00042
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.1	0.4	50	×0.00003 0.00150	×0.00003 0.00150
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.09	0.29	120	×0.00003 0.0036	×0.00003 0.0036
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.1	0.4	30	×0.00003 0.00090	×0.00003 0.00090
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.08	0.28	12	×0.00003 0.00036	×0.00003 0.00036
	Mono-ortho PCBs	—	—	1700	0.051	0.051
Total Co-PCBs		—	—	1900	1.0	1.0
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	6200	13	13

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。

2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。

3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。

4. 毒性当量 * 1: 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。

* 2: 検出下限未満の数値は検出下限値の1/2の値を用いて算出する。

5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-4-2-7 ダイオキシン類調査結果（底質・溶出試験：St. 1）

試料名		St.4		試料媒体	溶出液
採取日		2025年1月23日		試料量 (L)	5.4
		検出下限値	定量下限値	実測濃度	毒性当量
					WHO-TEF,2006
		pg/L	pg/L	pg/L	pg-TEQ/L
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.05	0.16	0.76	—
	1,3,7,9-TeCDD	0.05	0.16	0.70	—
	2,3,7,8-TeCDD	0.05	0.16	N.D.	×1 0
	TeCDDs	0.05	0.16	4.5	—
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.04	0.13	N.D.	×1 0
	PeCDDs	0.04	0.13	1.7	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.08	0.27	N.D.	×0.1 0
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.09	0.29	N.D.	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.08	0.28	N.D.	0
	HxCDDs	0.08	0.27	1.2	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.1	0.3	0.4	×0.01 0.004
	HpCDDs	0.1	0.3	1.7	—
	OCDD	0.09	0.31	5.4	×0.0003 0.00162
	Total PCDDs	—	—	15	0.0056
ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	0.05	0.17	0.19	—
	2,3,7,8-TeCDF	0.05	0.17	(0.10)	×0.1 0
	TeCDFs	0.05	0.17	6.8	—
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.05	0.17	(0.06)	×0.03 0
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.05	0.17	N.D.	×0.3 0
	PeCDFs	0.05	0.17	2.7	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.06	0.19	N.D.	×0.1 0
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.06	0.21	(0.09)	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.1	0.3	N.D.	0
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.07	0.22	(0.08)	0
	HxCDFs	0.06	0.19	0.66	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.06	0.21	(0.11)	×0.01 0
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.09	0.29	N.D.	0
	HpCDFs	0.06	0.21	0.39	—
	OCDF	0.1	0.3	(0.2)	×0.0003 0
Total PCDFs		—	—	11	0
Total PCDDs+PCDFs		—	—	25	0.0056
COPs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.06	0.18	3.9	×0.0001 0.00039
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.06	0.21	0.22	×0.0003 0.000066
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.08	0.26	(0.22)	×0.1 0
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.05	0.16	N.D.	×0.03 0
	Non-ortho PCBs	—	—	4.3	0.00046
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.07	0.22	(0.13)	×0.00003 0
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.1	0.3	6.0	×0.00003 0.000180
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.08	0.27	3.7	×0.00003 0.000111
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	0.07	0.22	0.65	×0.00003 0.0000195
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.1	0.3	(0.2)	×0.00003 0
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.09	0.30	0.43	×0.00003 0.0000129
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.08	0.27	(0.13)	×0.00003 0
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.09	0.29	N.D.	×0.00003 0
	Mono-ortho PCBs	—	—	11	0.00032
Total Co-PCBs		—	—	16	0.00078
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	41	0.0064

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり計量の対象外である。
2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。
3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。
4. 毒性当量：定量下限未満の実測濃度を0として算出する。
5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-4-2-8 ダイオキシン類調査結果（底質・溶出試験：St. 2）

試料名		St.2		試料媒体	溶出液
採取日		2025年1月23日		試料量 (L)	5.4
		検出下限値 pg/L	定量下限値 pg/L	実測濃度 pg/L	毒性当量
					WHO-TEF,2006
					pg-TEQ/L
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.05	0.16	0.33	—
	1,3,7,9-TeCDD	0.05	0.16	0.18	—
	2,3,7,8-TeCDD	0.05	0.16	N.D.	×1 0
	TeCDDs	0.05	0.16	1.2	—
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.04	0.13	N.D.	×1 0
	PeCDDs	0.04	0.13	0.72	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.08	0.27	N.D.	×0.1 0
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.09	0.29	N.D.	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.08	0.28	N.D.	0
	HxCDDs	0.08	0.27	1.4	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.1	0.3	(0.2)	×0.01 0
	HpCDDs	0.1	0.3	1.3	—
	OCDD	0.09	0.31	2.9	×0.0003 0.00087
	Total PCDDs	—	—	7.4	0.00087
ジベンゾ	1,2,7,8-TeCDF	0.05	0.17	N.D.	—
	2,3,7,8-TeCDF	0.05	0.17	N.D.	×0.1 0
	TeCDFs	0.05	0.17	1.4	—
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.05	0.16	N.D.	×0.03 0
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.05	0.17	N.D.	×0.3 0
	PeCDFs	0.05	0.16	0.30	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.06	0.18	N.D.	×0.1 0
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.06	0.21	N.D.	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.1	0.3	N.D.	0
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.07	0.22	N.D.	0
	HxCDFs	0.06	0.18	0.59	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.06	0.21	N.D.	×0.01 0
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.09	0.29	N.D.	0
	HpCDFs	0.06	0.21	0.28	—
	OCDF	0.1	0.3	(0.1)	×0.0003 0
Total PCDFs		—	—	2.7	0
Total PCDDs+PCDFs		—	—	10	0.00087
COPs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.06	0.18	3.7	×0.0001 0.00037
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.06	0.21	(0.18)	×0.0003 0
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.08	0.26	N.D.	×0.1 0
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.05	0.16	N.D.	×0.03 0
	Non-ortho PCBs	—	—	3.8	0.00037
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.07	0.22	0.24	×0.00003 0.0000072
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.1	0.3	11	×0.00003 0.00033
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.08	0.27	4.9	×0.00003 0.000147
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	0.07	0.22	0.39	×0.00003 0.0000117
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.1	0.3	(0.2)	×0.00003 0
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.09	0.30	0.38	×0.00003 0.0000114
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.08	0.27	(0.11)	×0.00003 0
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.09	0.29	N.D.	×0.00003 0
	Mono-ortho PCBs	—	—	17	0.00051
Total Co-PCBs		—	—	21	0.00088
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	31	0.0017

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり計量の対象外である。
2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。
3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。
4. 毒性当量：定量下限未満の実測濃度を0として算出する。
5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-4-2-9 ダイオキシン類調査結果（底質・溶出試験：St. 3）

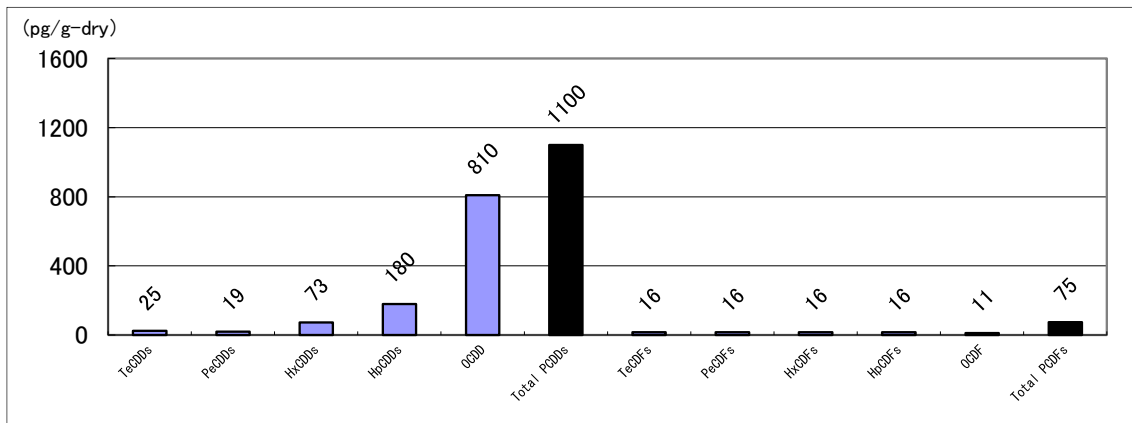
試料名		St.3		試料媒体	溶出液
採取日		2025年1月23日		試料量 (L)	5.4
		検出下限値 pg/L	定量下限値 pg/L	実測濃度 pg/L	毒性当量
					WHO-TEF,2006
					pg-TEQ/L
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.05	0.16	0.32	—
	1,3,7,9-TeCDD	0.05	0.16	(0.11)	—
	2,3,7,8-TeCDD	0.05	0.16	N.D.	×1 0
	TeCDDs	0.05	0.16	0.87	—
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.04	0.13	N.D.	×1 0
	PeCDDs	0.04	0.13	2.0	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.08	0.27	N.D.	×0.1 0
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.09	0.29	(0.10)	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.08	0.28	(0.11)	0
	HxCDDs	0.08	0.27	4.8	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.1	0.3	0.9	×0.01 0.009
	HpCDDs	0.1	0.3	3.9	—
	OCDD	0.09	0.31	5.0	×0.0003 0.00150
	Total PCDDs	—	—	17	0.011
ジベンゾ	1,2,7,8-TeCDF	0.05	0.17	N.D.	—
	2,3,7,8-TeCDF	0.05	0.17	N.D.	×0.1 0
	TeCDFs	0.05	0.17	1.0	—
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.05	0.17	N.D.	×0.03 0
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.05	0.17	N.D.	×0.3 0
	PeCDFs	0.05	0.17	0.40	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.06	0.19	(0.11)	×0.1 0
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.06	0.21	(0.07)	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.1	0.3	N.D.	0
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.07	0.22	(0.12)	0
	HxCDFs	0.06	0.19	1.8	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.06	0.22	0.38	×0.01 0.0038
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.09	0.29	N.D.	0
	HpCDFs	0.06	0.22	1.5	—
	OCDF	0.1	0.3	(0.2)	×0.0003 0
Total PCDFs		—	—	4.9	0.0038
Total PCDDs+PCDFs		—	—	22	0.014
C o P C B s	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.06	0.18	3.7	×0.0001 0.00037
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.06	0.21	(0.19)	×0.0003 0
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.08	0.26	N.D.	×0.1 0
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.05	0.17	N.D.	×0.03 0
	Non-ortho PCBs	—	—	3.8	0.00037
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.07	0.23	0.25	×0.00003 0.0000075
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.1	0.3	13	×0.00003 0.00039
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.08	0.27	5.3	×0.00003 0.000159
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	0.07	0.22	0.46	×0.00003 0.0000138
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.1	0.3	(0.3)	×0.00003 0
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.09	0.30	0.42	×0.00003 0.0000126
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.08	0.28	(0.09)	×0.00003 0
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.09	0.29	N.D.	×0.00003 0
	Mono-ortho PCBs	—	—	20	0.00058
Total Co-PCBs		—	—	24	0.00095
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	46	0.015

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり計量の対象外である。
2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。
3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。
4. 毒性当量：定量下限未満の実測濃度を0として算出する。
5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

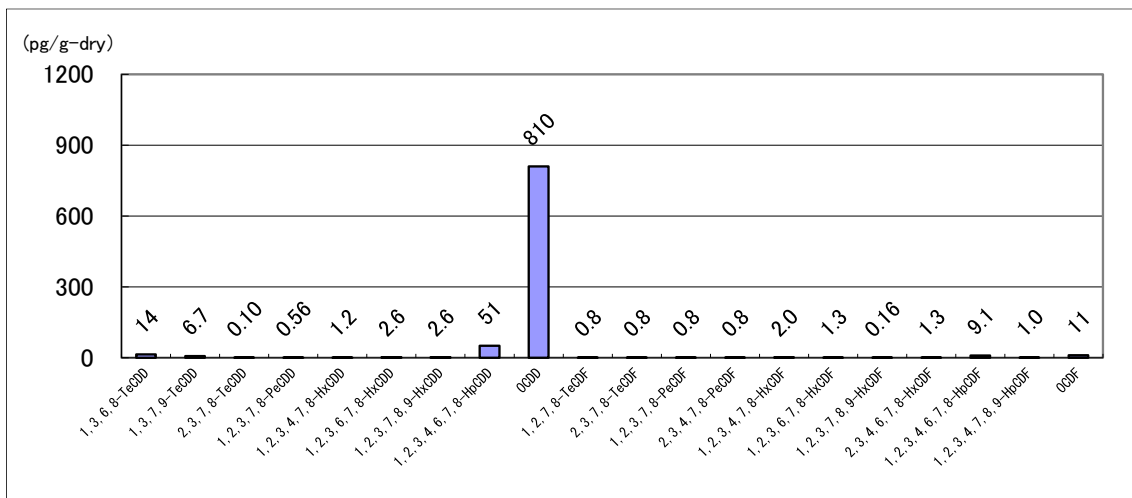
表 4-4-2-10 ダイオキシン類調査結果（底質・溶出試験：St. 4）

試料名		St.4		試料媒体	溶出液
採取日		2025年1月23日		試料量 (L)	5.4
		検出下限値	定量下限値	実測濃度	毒性当量
					WHO-TEF,2006
		pg/L	pg/L	pg/L	pg-TEQ/L
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.05	0.16	0.76	—
	1,3,7,9-TeCDD	0.05	0.16	0.70	—
	2,3,7,8-TeCDD	0.05	0.16	N.D.	×1 0
	TeCDDs	0.05	0.16	4.5	—
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.04	0.13	N.D.	×1 0
	PeCDDs	0.04	0.13	1.7	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.08	0.27	N.D.	×0.1 0
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.09	0.29	N.D.	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.08	0.28	N.D.	0
	HxCDDs	0.08	0.27	1.2	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.1	0.3	0.4	×0.01 0.004
	HpCDDs	0.1	0.3	1.7	—
	OCDD	0.09	0.31	5.4	×0.0003 0.00162
	Total PCDDs	—	—	15	0.0056
ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	0.05	0.17	0.19	—
	2,3,7,8-TeCDF	0.05	0.17	(0.10)	×0.1 0
	TeCDFs	0.05	0.17	6.8	—
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.05	0.17	(0.06)	×0.03 0
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.05	0.17	N.D.	×0.3 0
	PeCDFs	0.05	0.17	2.7	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.06	0.19	N.D.	×0.1 0
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.06	0.21	(0.09)	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.1	0.3	N.D.	0
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.07	0.22	(0.08)	0
	HxCDFs	0.06	0.19	0.66	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.06	0.21	(0.11)	×0.01 0
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.09	0.29	N.D.	0
	HpCDFs	0.06	0.21	0.39	—
	OCDF	0.1	0.3	(0.2)	×0.0003 0
Total PCDFs		—	—	11	0
Total PCDDs+PCDFs		—	—	25	0.0056
COPs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.06	0.18	3.9	×0.0001 0.00039
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.06	0.21	0.22	×0.0003 0.000066
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.08	0.26	(0.22)	×0.1 0
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.05	0.16	N.D.	×0.03 0
	Non-ortho PCBs	—	—	4.3	0.00046
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.07	0.22	(0.13)	×0.00003 0
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.1	0.3	6.0	×0.00003 0.000180
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.08	0.27	3.7	×0.00003 0.000111
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	0.07	0.22	0.65	×0.00003 0.0000195
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.1	0.3	(0.2)	×0.00003 0
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.09	0.30	0.43	×0.00003 0.0000129
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.08	0.27	(0.13)	×0.00003 0
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.09	0.29	N.D.	×0.00003 0
	Mono-ortho PCBs	—	—	11	0.00032
Total Co-PCBs		—	—	16	0.00078
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	41	0.0064

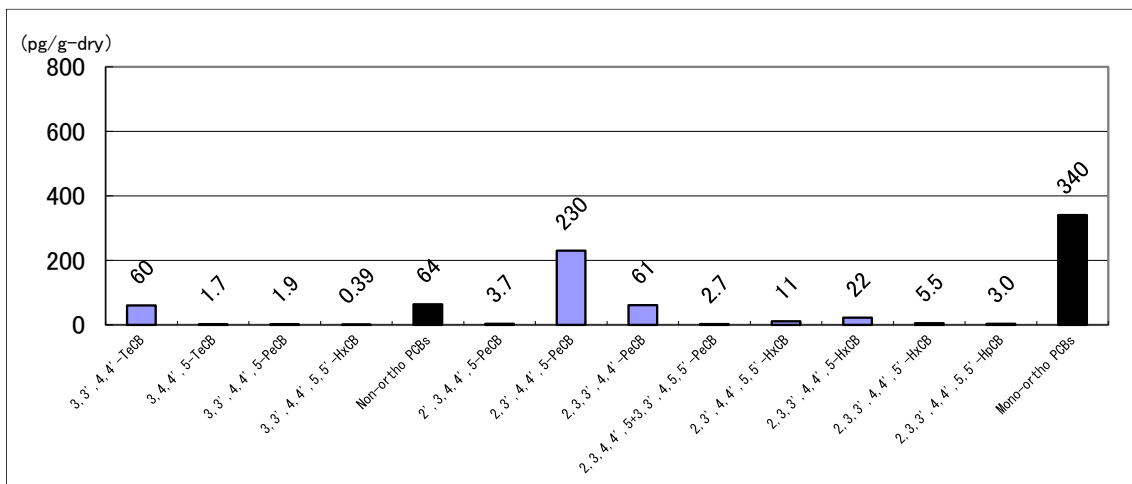
1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり計量の対象外である。
2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。
3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。
4. 毒性当量：定量下限未満の実測濃度を0として算出する。
5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。



ダイオキシン類同族体組成（実測濃度）

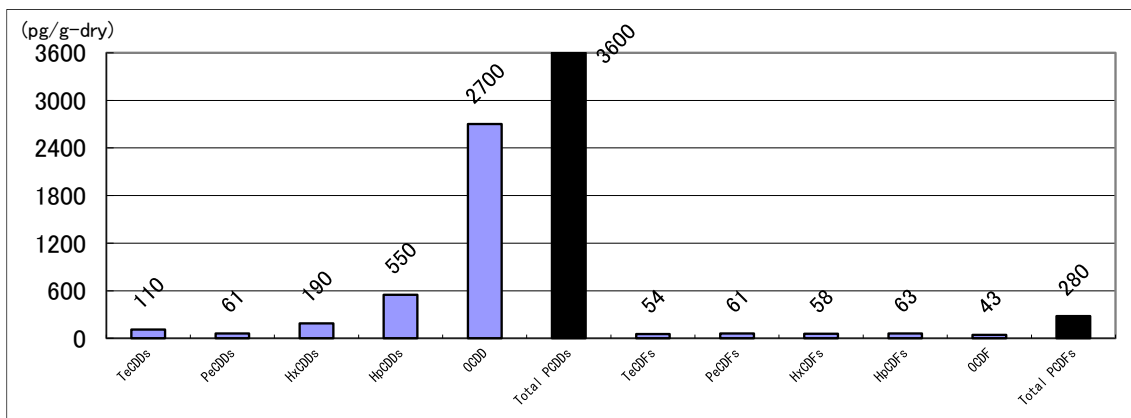


ダイオキシン類 2,3,7,8-位塩素置換異性体組成（実測濃度）

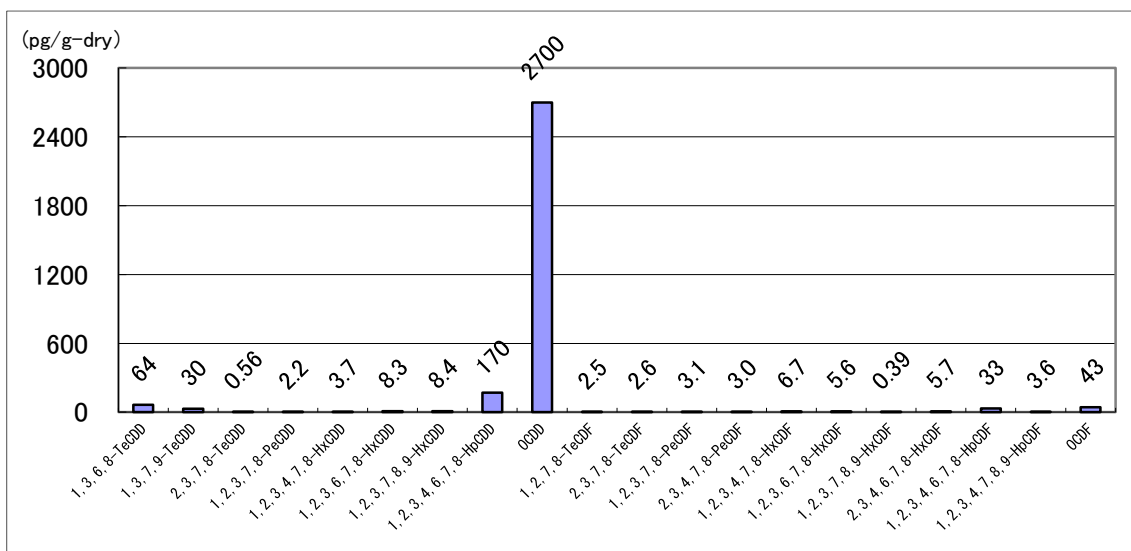


Co-PCBs 異性体組成（実測濃度）

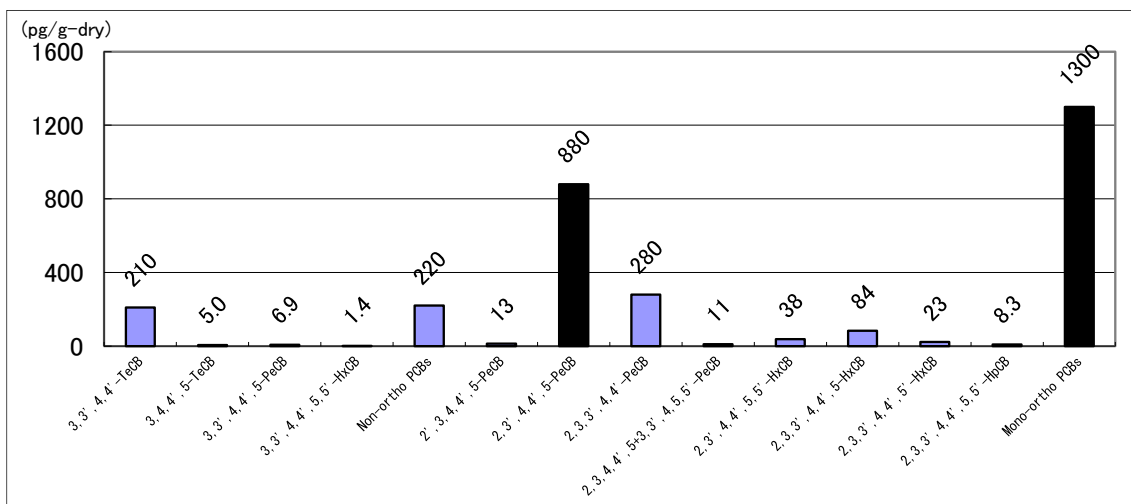
図 4-2-2-1 同族体および異性体の組成（底質：St. 1）



ダイオキシン類同族体組成（実測濃度）

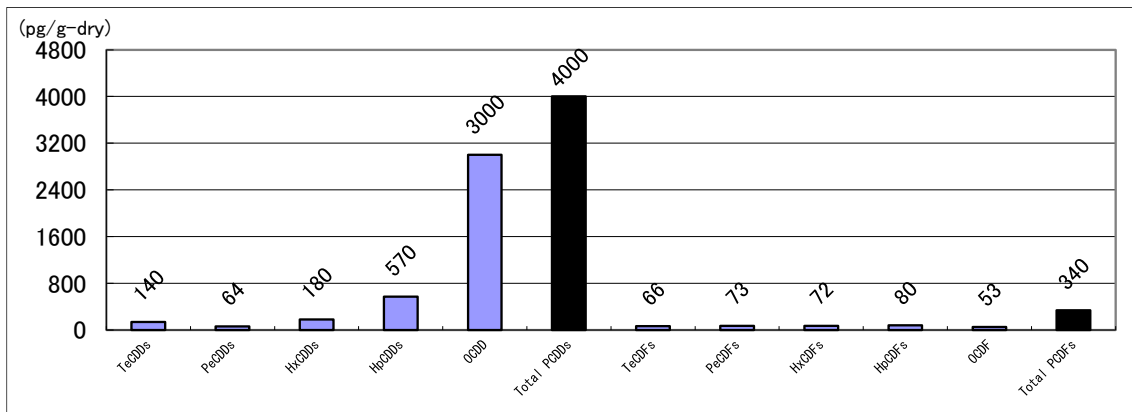


ダイオキシン類 2,3,7,8-位塩素置換異性体組成（実測濃度）

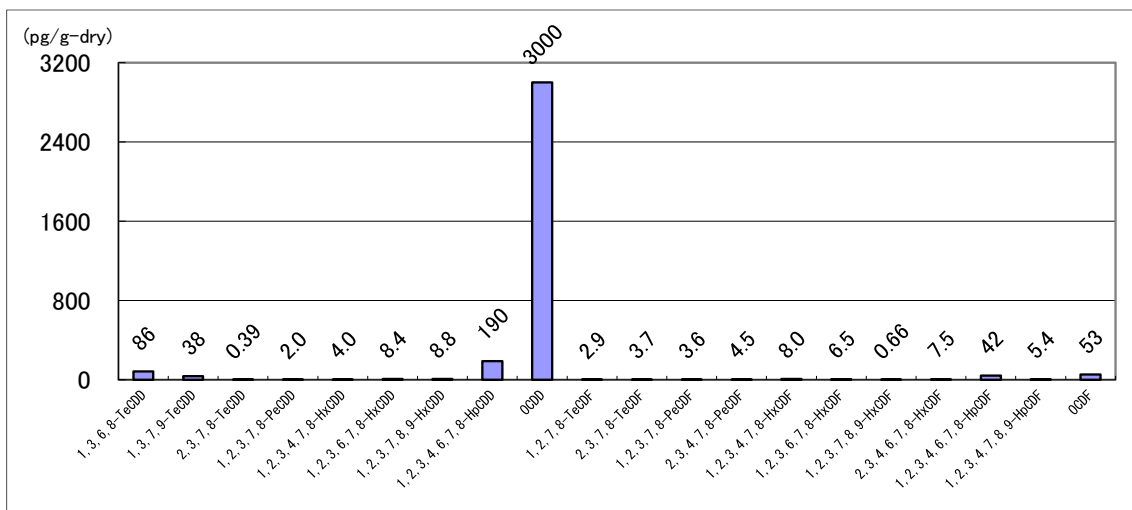


Co-PCBs 異性体組成（実測濃度）

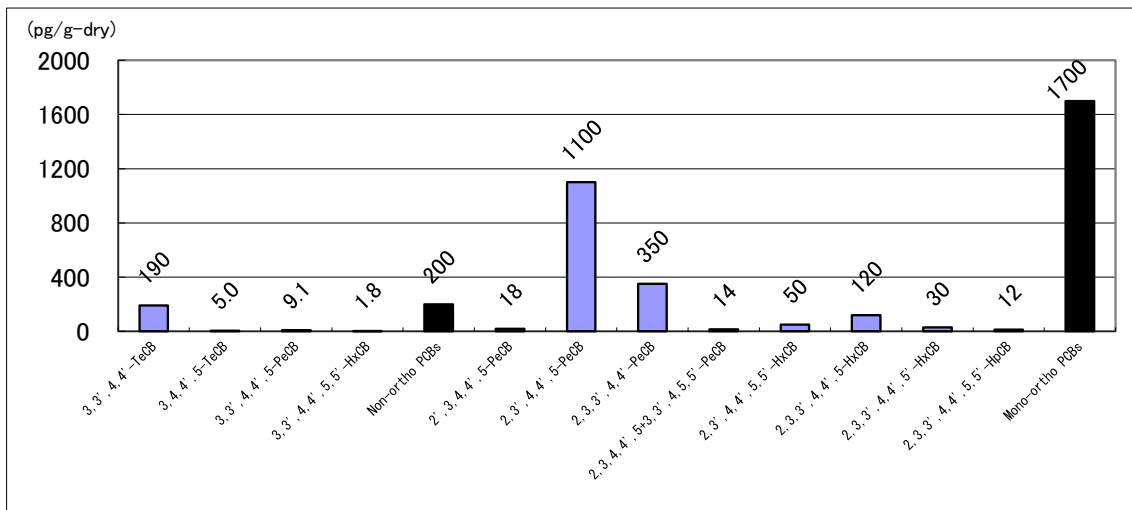
図 4-2-2-2 同族体および異性体の組成（底質：St. 2）



ダイオキシン類同族体組成（実測濃度）



ダイオキシン類 2,3,7,8-位塩素置換異性体組成（実測濃度）



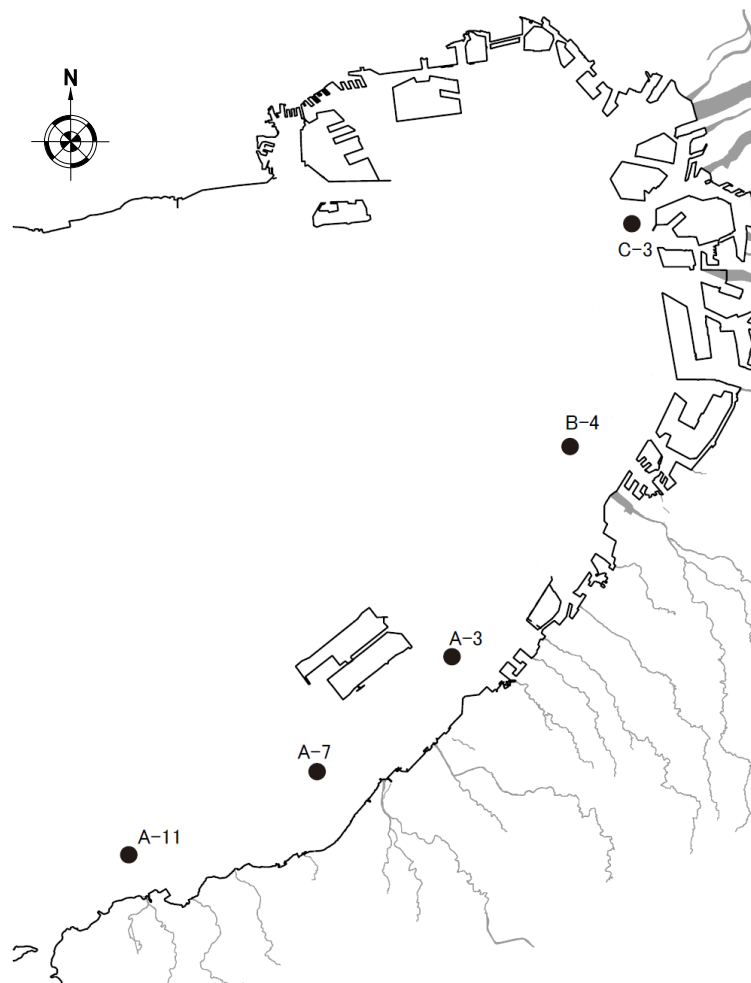
Co-PCBs 異性体組成（実測濃度）

図 4-2-2-4 同族体および異性体の組成（底質：St. 4）

参考資料 令和5年度ダイオキシン類常時監視結果

調査地点	水質調査結果 (pg-TEQ/L)	底質調査結果 (pg-TEQ/g)
C-3	0.041	16
B-4	0.031	12
A-3	0.031	9.2
A-7	0.034	7.7
A-11	0.031	1.1
平均値	0.034	9.2

備考：大阪府ホームページ内の「大阪府ダイオキシン類常時監視結果」より抜粋。



調査地点図